

平成28年度 組織目標進捗状況 [総務課]

第2四半期

目標1	親しまれる役場づくり		担当係	行政庶務係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
<p>①より良い窓口サービスを提供するために、接客向上の推進に取り組む。</p> <p>②接客向上の為に、職員研修を9月に開催する。</p> <p>③緑のカーテンを施し温暖化への取組みと、花壇に花苗を植え環境美化に取り組む。</p> <p>④「小手毬の会」や「松川高校ボランティア部」の協力を得て、花のある親しまれる庁舎環境整備を進める。</p>	<p>①来庁者の意見の聴取の為、窓口アンケート実施に向けて内容を検討中、8月に設置した。</p> <p>②職員の接客向上の為に、職員研修の開催を10月に計画中</p> <p>③5月にプランターにゴーヤを植えて、緑のカーテンを実施、涼と環境の向上に努めた。</p> <p>④「松川高校ボランティア部」の協力により、花壇に花を植えていただき、親しみやすい役場づくりに努めた。</p>	<p>①窓口アンケートを8月に開始をした。</p> <p>②接客研修については計画を進める。</p> <p>③緑のカーテンを実施環境向上に努めた。</p> <p>④庁舎花壇に花がきれいに咲かせることができた。</p>	<p>①多くの方の意見を寄せてもらえるように改良する。</p> <p>②研修を至急計画します。</p> <p>③ゴーヤの育ちの悪い箇所があったので来年に向けて改良する。</p> <p>④苗を植えた後の管理に手間が係るので方法を考えたい。</p>	
目標2	職員の意識能力改革		担当係	行政庶務係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
<p>○職員の意識改善の実施</p> <p>①職員の意識改革と住民サービス向上のため、5S活動を推進する。</p> <p>○人材育成</p> <p>②毎月を目標に職員研修(まちづくり、資質向上等)を実施する。</p> <p>③天竜川上流河川事務所への職員派遣を実施し、人事交流を行う。</p> <p>○人事評価制度の充実</p> <p>④職員一人ひとりの能力向上と業績評価に基づいた人事管理を行い、制度の的確な運用を図る。</p>	<p>①5S活動の推進の為に講習会の実施に向けて計画している。</p> <p>②個別の職員研修を年間計画を5月に作成し、順次実施している。全職員対象の研修を月1回の予定で実施予定。</p> <p>③天竜川上流河川事務所へ松尾係長を派遣し人事交流をすすめている。</p> <p>④人事評価の当初説明会を5月に実施、目標設定を行い、中間フォローを実施中。</p>	<p>①5S活動の講習会を計画する。</p> <p>②職員研修を計画的に進めている。</p> <p>④人材育成の為に人事評価制度に取り組む。</p>	<p>①5S活動について研修会を至急開催する。</p> <p>②人事評価制度について意識改革に努めたい。</p>	

平成28年度 組織目標進捗状況 [総務課]

第2四半期

目標3	効率的な行政運営	担当係	行政庶務係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○職員の意識能力開発 ①職員人材育成計画を策定するとともに、的確な運用を行う。 ②公文書データベース化を運用することにより、効率的な行政事務を行う。 ③「ストレスチェック」実施すると共に、メンタルヘルス研修の充実を図る。</p>	<p>①職員の定員管理計画を策定中。 ②公文書データベースの活用を、講習会を通じて浸透を図る。 ③職員安全衛生委員会を開催し、職場の衛生環境改善検討を行うと共に、ストレスチェックを11月に行う様計画を進めている。 ④ハラスメント防止の要綱を策定し相談体制を整備している。</p>	<p>①職員定員管理計画を策定中 ②公文書管理の研修会を計画する。 ③衛生委員会を開催して、職場環境改善に努めている。又ストレスチェックを計画的に進めている。</p>	<p>①臨時職員も含めた労務管理を改善する。 ②公文書管理を計画的に進める。 ③安全衛生委員会の産業医の関わりを検討する。</p>
目標4	防災対策への整備	担当係	危機管理係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○危機管理対策 ①災害対策基本法の改正により地域防災計画の改定を進める。 ・指定緊急避難所の指定、及び災害時要援護者を災害から守るために、防災計画への記載。 ・南海トラフ地震の地域指定を受け、避難路及び避難経路、避難誘導及び救助活動等の拠点施設の防災計画を策定する。(避難所マニュアルの作成) ・地震・豪雨・豪雪等の自然災害に対応できるよう、職員初動マニュアルが機能できるよう体制を整える。 ②パンデミック(世界的流行病)に係る洗い出しを行い、対応体制の検討を行う。 ③南海トラフ地震を想定した防災訓練を計画し、自主防、関係機関、防災協定団体と連携し実施する。 ・災害対策本部の設置・運営等の機能を高めるため、職員の災害訓練(図上、非常招集)を実施する。</p>	<p>①指定緊急避難場所の追加作業及び、福祉避難所の設定(保健福祉課) ②新型インフルエンザ対応(保健福祉課) ③8/28町防災訓練計画</p>	<p>①指定緊急避難場所及び指定避難所の追加申請書作成中 ②新型インフルエンザ行動計画策定に伴う訓練の実施(H29.1) ③自主防災リーダーを中心に過去の災害箇所研修会計画(3地区)</p>	<p>①避難所・避難場所指定に伴い施設管理者との協定等。 ②行動計画に基づく、担当課との連携訓練 ③設営訓練等の訓練計画</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [総務課]

第2四半期

目標5	消防団組織の充実		担当係	危機管理係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
○消防団活動の充実 ①あり方検討委員会の提言を受け、消防団、地域、町と連携し、組織改編に向け調整を行う。 ②女性消防班による予防消防活動の充実、また日赤奉仕団等と合同で救護訓練を行う。 ③車両更新(2号車)、活動支援整備(LED灯光器、雨具)を行う。	①消防団員の中で委員会(統合準備委員会)を設け各団調整協議 ②9月に計画 ③8月中に発注を完了した。	①統合に向け、団員及び区会と調整してきた。H29.4スタートに向け調整を進める。 ②救護班と奉仕団の日程調整を進める。 ③雨具について納品済、工期内完了を進める。		①団員に必要性は理解していただいたが、統合後の運営について調整が必要。 ②女性班による、予防広報(チラシ)を進めており、今後の新たな活動について検討。 ③H29年度補助金活用申請手続き。
目標6	交通防犯対策整備		担当係	危機管理係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
○交通安全施設の整備 ①地元等から要望の高い横断歩道、信号機設置、を引き続き県警に要望する。 ○防犯灯の維持・管理 ②通学路への防犯灯設置は重点的に整備し、維持管理は迅速に行う。 ○安心なまちづくり ③地域の防犯部長と年末等の防犯パトロール、地域の子どもの見守り活動などの青色防犯パトロールを実施し、安心・安全な地域をつくる。 ④住みよいまちづくりのため、町民と連携し課題解決に取り組む。	①横断歩道、信号機等の要望については、10月までに取りまとめ申請手続きを行う。 ②H29年度要望(9月末提出期限) ③12月末のパトロールを計画 ④反社会勢力対応は迅速に進めている。(顧問弁護士との調整、防犯支援員の雇用)	①10月末までに要望手続きを行う。 ②修理要望、新設要望とりまとめ後手配を進める。 ③年末パトロールのお願いについて、区長自治会長会への提案。 ④防犯相談役との調整(警友会との調整)		①要望箇所のとりまとめ。未採択箇所の協議 ②蛍光灯取替えについての方針検討 ③防犯協会(仮称)の検討 ④各課への聞き取り、相談支援。

平成28年度 組織目標進捗状況 [会計室]

第2四半期

目標1	迅速かつ正確で親切な窓口業務		担当係	会計室
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
○迅速かつ正確な窓口業務を行う ①指定金融機関の在席(9:15~15:30)以外の窓口業務、窓口混雑時のサポート、現金取扱員による徴収現金の出納等、正確に窓口業務を行う。 ②長野県収入証紙の購入・保管を行い、個人や事業者販売している。広くアピールを行い、売上実績を上げるように努める。	①毎日の業務であり、正確に行われている。 ②第1四半期においては、429,550円分の証紙を販売した。	①順調である。 ②昨年同時期は445,920円であり、昨年度同様減少している。	② 3月の高校入学など多くの需要が見込まれる時期に合わせて、チャネルニューなどを利用して利用促進を図る。	
目標2	公金の適正な出納事務の実施		担当係	会計室
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
○財務規則に基づき適正な公金の出納事務を実施する ①各課の歳出歳入伝票類が、財務規則その他の関連法規に適合しているか審査を行い、担当者に適切なアドバイスを行う等、会計事務の適正化を図る。 ②会計事務担当者の適正、確実な会計処理と事務の効率化を図るために出納事務研修を行い、事務の統一、職員の認識を深めるよう努める。 ③指定金融機関から毎日送付される納入済通知書について、点検、仕分け整理、財務会計データ等と照合を行い、担当課へ送付する。	①伝票類の点検を行い、誤り・疑義のあるものについてはアドバイスをを行った。また、監査指摘事項について改善を行った。 ②秋ごろに行う予定。 ③納入済通知書の処理を行った。平成28年1月と4月に職員が変わってそれぞれ所得税の支払いにミスがあった。2回目のミスにより、所得税の延滞金が発生してしまった。	①順調である。 ②秋に行う研修にむけて、職員が勉強をしていく時期にある。 ③所得税の延滞金は職員の引継のミスと、上司への報告(1回目のときに報告がなかった)のミスが重なったためであった。	② 初めて説明会を行う職員のプレゼンスキルをあげるため、しっかりとした準備が必要である。 ③ 今後二度と同じミスが怒らないように、ミスの引継とマニュアル作りが必要となる。	
目標3	マイナンバーの適正な管理と運用		担当係	会計室
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
○収集したマイナンバーの適正な管理を行う。 ①マイナンバー専用のPCを購入し、収集したマイナンバーを入力する。また、PCは金庫に保管し、盗難防止に努める。 ②1月に給与支払い報告書を作成する。市町村役場・本人へ遅延のないよう送付する。	①PCは用意済。10月業者に依頼してマイナンバー管理のソフトをインストールする。	①順調である。	① 1年間収集したマイナンバーを11月と12月の2カ月で入力することになった。スケジュール管理が必要となる。1月発行の源泉徴収票に間に合わせる。	

平成28年度 組織目標進捗状況 [会計室]

第2四半期

目標4	現金の管理及び運用	担当係	会計室	
目標		進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	
			改善 (第2・第4四半期に記入)	
	<p>○資金不足の回避と健全性の確保 ①日々の支払に充てるための現金(支払準備金)は、その収支見込を把握して資金が不足しないよう確保する。 ②流動性の基金及び特定の目的のために積み立てている現金(基金)については確実かつ効率的に運用する。 ③基金の運用は有利な方法を研究する。繰替運用を行う。</p>	<p>①4月に1億3千万の資金回収を行った。 ②国債の利回りが上昇しないため、1年未満の定期預金による資金確保を行った(飯田信金 1億5千万 2か月の延長と八十二銀行1億円)。 ③繰替え運用の準備のため、基金の満期を調整した。</p>	<p>①順調である。 ②合わせて10,000円余りの利子収入があった。 ③繰替え運用の方法について今一度研究が必要</p>	<p>①②③ 10月より資金不足が予想されているので計画的な運用を行う。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [まちづくり政策課]

第2四半期

目標1	地域コミュニティの支援	担当係	まちづくり推進係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○区会、自治会や各種団体と連携したまちづくりの展開</p> <p>①まちづくり懇談会を開催し、地域の課題を整理するとともに、自治会担当職員の担当地域への積極的な関わりを促す。</p> <p>○自主的まちづくり活動の支援</p> <p>②町民提案型まちづくり事業の推進と、役場職員と地域が一緒になって新たな住民活動を支援する。</p> <p>③元気づくり支援金やコミュニティ助成事業を有効活用する。</p> <p>○活力あるまちづくりへの取り組み</p> <p>④「生東を考える会」の運営支援とともに、住民と一緒に生東の将来を考えていく。</p> <p>⑤地域アドバイザーと連携した地域づくりを進める。</p> <p>⑥職員の自主的学習、研修を促し、まちづくりに対する意識の醸成を図る。</p> <p>⑦東小学校あと利用について、提言書に基づき方向性を模索する。</p>	<p>①4月の区長・自治会長会において、まちづくり懇談会の開催を呼びかけた。現在、51自治会からの申込みがあり、47自治会で実施済み。</p> <p>②1次募集で2件、2次募集で6件の事業採択を行った。</p> <p>③元気づくり支援金は、1次で2件の事業採択となり、現在3次募集で4件の事業を応募している。コミュニティ助成事業は、現在募集中である。</p> <p>④毎月、生東を考える会を開催(必要に応じて事務局会議を開催)し、テーマを設けて意見を出し合っている。</p> <p>⑤高橋寛治地域アドバイザーと連携を密にし、生東を考える会へも参加してもらいながら、地域づくりと一緒に考えている。</p> <p>⑥より良い研修等を選択し、掲示板等で職員の自主的参加を呼び掛けている。</p> <p>⑦文部科学省による『～未来につなごう～「みんなの廃校」プロジェクト』の廃校活用アイデア募集での問い合わせに対応し、うち1件を現地で案内した。</p>	<p>①まちづくり懇談会未開催の自治会担当職員及び班長へ開催に向け呼び掛けを行っている。</p> <p>②都度、庁内審査会、選考委員会を開催。適正に事務処理を行っている。</p> <p>③事業の申請者と協力し、採択されるような事業内容の検討を行う。</p> <p>④生東を考える会で話し合ってきた成果を8/7の生東の森まつりで発表。</p> <p>⑤高橋地域アドバイザーの助言により、新たな地域づくりが芽生えている。</p> <p>⑥参加する職員の面子が変わらない。</p> <p>⑦随時問い合わせに対応している。</p>	<p>①まちづくり懇談会の開催も10年を超え、手法がマンネリ化してきているために参加者人数に陰りが見える。職員との意見交換ができる場を考えていく。</p> <p>②庁内審査会、選考委員会から出された意見を基に要綱を改正。</p> <p>③コミュニティ助成事業の募集アナウンスについて、庁外へもアナウンスを掛ける。</p> <p>④生東を考える会(生東の将来を考える)のメンバーについて、今後は会員の家族や知人の参加を呼び掛けていく。</p> <p>⑤次年度以降の地域アドバイザーについては、補助事業から単費契約に変更して継続していく。</p> <p>⑥まちづくり政策課担当職員から率先して意識の醸成を図ることが必要。</p> <p>⑦施設を開放しボルダリングなどを体験してもらうなど、町民の意見を聞く。</p>
目標2	住民参画の推進と町制施行60周年記念事業への取り組み	担当係	企画財政係/まちづくり推進係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○開かれた行政と住民参画</p> <p>①まちづくり出前講座を開催し、住民に町政に対する理解を深めてもらうとともに、担当職員が地域に出向くことで、地域との関わりを促す。</p> <p>②小学生を対象としたミニ議会、中学生を対象としたまちづくり意見交換会を開催することにより、小中学生が地域づくりに関心を持ち、そこで出された意見を町政に反映させる。</p> <p>○住民参画機会の充実</p> <p>③会議及び会議録の確実な公開を行う。</p>	<p>①4月の区長・自治会長会において、まちづくり出前講座の開催を呼びかけた。現在、27自治会からの申込みがあり、23自治会で実施済み。</p> <p>②小学生を対象としたミニ議会、中学生を対象としたまちづくり意見交換会を11月に開催することで進めている。</p> <p>③④上半期分の運用状況について各課へ報告依頼済み。取りまとめ後10月中に公表する予定。</p> <p>⑤地域づくり会議委員と町長との懇談会を実施(9/26)。</p>	<p>①申込自治会に対して、滞りなく実施している。</p> <p>②中学生を対象としたまちづくり意見交換会については、60周年にちなんだ題材を付け加えたものとする予定。</p> <p>③④人事異動等により担当が変わったことにより、会議録の公表等の実施が疎かにならないようにしなければならない。</p>	<p>①町からの講座以外(例えば社協、警察、消防など)のテーマを用意できるようメニューを増やす。</p> <p>②</p> <p>③④引き続き定期的に職員へ制度の周知と確実な運用を促していく。</p> <p>⑤今後の会議の在り方については、メンバーと相談し内容を研究する。</p> <p>⑥これまでの経過と歴史を振り返り、次の世代へ繋げられるような実行委</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [まちづくり政策課]

第2四半期

<p>④町民や受益者の要請にきめ細かに対応した施策実現のため、パブリックコメント手続条例の確実な実施を進める。 ⑤定期的な地域づくり会議委員とのまちづくりに関する話し合いの機会を設ける。 ○町制施行60周年記念事業の実施 ⑥実行委員会を中心とした記念式典及び記念事業を開催し、町民とともに町の還暦をお祝いできる事業を行う。</p>	<p>⑥10月24日に記念事業(さかなクン講演会)を、10月29日に記念式典を開催することで決定し、準備を進めている。また、イベントや各地のお祭りなどで町制施行60周年をPRしてもらっている。</p>	<p>⑤懇談会の目的である「様々なご意見を出してもらおう」という点では意見が出された会議となった。 ⑥60周年記念事業が次の10年(70周年)へ向けどうつなげられるかが課題。</p>	<p>員会形式に持っていく。</p>
---	--	---	--------------------

<p>目標3</p>	<p>利用しやすい公共交通の推進と次世代高速交通の整備</p>	<p>担当係</p>	<p>まちづくり推進係/リニア対策室</p>
<p>目標</p> <p>○地域公共交通システムの運営 ①利用しやすい環境の整備、効率の良いコミュニティバスの運行に基づいた管理運営を行う。 ②持続可能なコミュニティバスの在り方の研究を行う。 ○JR飯田線の利用促進 ③伊那大島駅の有効活用と、地域住民のマイレール意識の高揚を図る。 ④飯田線活性化期成同盟会と連携、協力をしていく。 ○リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通を見据えたまちづくり ⑤関係する会議、シンポジウム等に出席し情報の共有を図る。 ⑥リニア建設工事に関する情報収集や地元、JR、県との調整を図るとともに、対策委員会運営を行う。</p>	<p>進捗状況</p> <p>①6月1日に第1回目の地域公共交通対策協議会を開催し、27年度の状況を報告した。 ②県の交通アドバイザー派遣事業へ申請した。今後派遣される専門家の意見を交えて研究を進める。 ③昨年度に続きオリジナルフレーム切手を販売し、本年度79枚を売り上げた。 ④今年も10月22日に飯田線活性化期成同盟会においてイベント列車を走らせることで進めている。 ⑤4月に飯田信金が開催したリニア中央新幹線開通に係る調査報告会に参加し、そこで得た情報を関係課で共有。 ⑥4月に対策委員会を開催し情報の共有を図った。また、関係する地区への説明会をJRにおいて行うなど、地元、JR、県との調整を図り、対応している。</p>	<p>点検・評価 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①事業は事故等無く管理運営している。 ② ③産業観光課とも連携し、飯田線関連のイベントや県外イベントにおいて積極的に販売した。 ④ ⑤会議、シンポジウム等、都合が合わず出席できないものもあり、情報の入手ができないこともあり。 ⑥対策委員会と庁内幹事会との連携を図り、必要に応じて対策委員会を開催している。</p>	<p>改善 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①②現在使用車両の耐用年数も迎えており、今後のコミュニティバスの方角性を検討する必要がある。試案準備に取り掛かる。 ③より効果的なイベントでPRしていくか検討を要する。 ④下伊那北部へもイベント列車を走らせる計画を提案していく。 ⑤担当課で行けなくても、関係課へ参加を促す。 ⑥庁内幹事会を必要に応じ開催し、庁内での情報共有を常に図る。</p>

<p>目標4</p>	<p>広報広聴の充実</p>	<p>担当係</p>	<p>まちづくり推進係</p>
<p>目標</p> <p>○広報紙・町ホームページ等を活用した情報発信と広報広聴 ①まちづくり広報参事及び広報専門職員と連携し、広報紙・ホームページ等の充実を図り、町内外の方に興味を持ってもらえる町の情報発信を行う。 ②各課と連携し、町民の皆様が知りたい情報を、より分</p>	<p>進捗状況</p> <p>①情報発信を積極的に行うためにも、5月に新入職員向けホームページCMS講習会を開催。 ②毎月、広報編集委員会を開催し、より分かりやすい広報の提供に心掛けている。 ③毎月、(株)チャンネル・ユーの役場だよりにおいてタイムリーな情報発信を行っている。</p>	<p>点検・評価 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①まちづくり広報参事及び広報専門職員と連携を図り、最新の情報が発信できるよう常にアンテナを張っている。 ②③イベント情報などはグループウェアを通じて随時担当者へ掲載</p>	<p>改善 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①他課からのまちづくり広報参事への業務依頼が増加しているため、職員からの丸投げとされないよう業務内容を精査する。 ②③職員の情報発信への意識はまだまだ低い。意識づけの対策を</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [まちづくり政策課]

第2四半期

<p>かりやすく提供する。 ③(株)チャンネル・ユートと連携し、町民等に行政に対し関心を持ってもらえるような情報発信を行う。 ④県外で開催されるイベント等に参加し、松川町に興味を持ち、来町してもらえるような情報発信を行う。</p>	<p>④産業観光課と連携を図り、県外で開催のイベント等に参加し特産品の販売や町のパンフの配布などを通じて町の情報発信を行っている。</p>	<p>を促し、情報の提供に努めている。 ④産業観光課に担っていただいているところが大きい。</p>	<p>行う。 ④イベント等の開催情報が産業観光課に集まるため、連携を図りながら協力できるものは積極的に関わっていく。</p>
---	---	---	--

目標5	地域間交流の推進	担当係	まちづくり推進係
<p>目標</p> <p>○他市町村等との交流事業の展開 ①牧之原市及び蓮田市との友好関係を継続・発展するための交流を行う。また、蓮田市とは友好姉妹都市締結を行う。 ②関東、関西松川町の会との定期的な交流・情報交換を進める。 ③新たな自治体との交流を研究する。 ④地域住民と連携した大学との連携事業を行う。 ○広報大使・ふるさと大使を活用した町の魅力発信 ⑤広報大使に、県内外で行われるイベントに参加してもらい、町の魅力を発信してもらう。 ⑥ふるさと大使を増員し、連携して町のPRを行う。</p>	<p>進捗状況</p> <p>①4月に蓮田市商工祭さくらまつりへ参加、5月に議員研修で蓮田市を訪問、8月にはすだ市民まつりへ参加。また、蓮田市との友好姉妹都市締結を10月29日の町制施行60周年記念式典において締結するよう準備を進めている。 ②関西信州松川町の会を11月6日に開催することで進めている。 ③未実施 ④4月に横浜国立大学の受入れを行い、10月に再訪問で現地調査に入る予定。また、今年4年目となる愛知大学は、8月に増野地区で連携事業を実施した。 ⑤蓮田市において行われるイベントにおいて、町の情報を発信してもらっている。 ⑥町制施行60周年を記念して新たに3名の方へ委嘱することで決定し、うち1人には8月に任命した。残り2名については、10月29日の記念式典の中で任命する予定。</p>	<p>点検・評価 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①蓮田市とは災害時応援協定から友好姉妹都市の締結へと友好関係を発展させている。 ② ③ ④10月までに愛知大学から連携事業に関するレポートを提出してもらい、今後の方針を検討する。 ⑤蓮田市における松川町の知名度は年々高まっている。 ⑥60周年記念式典の際に任命と報告を行い、予定どおり増員を図る。</p>	<p>改善 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①牧之原市との交流を産業観光課とも連携を図り発展させる。 ② ③ ④地域住民を巻き込んだ大学連携の手法に改善する。 ⑤広報大使の増員を検討。 ⑥委嘱で終わりではなく、ふるさと大使と連携を図り、町のPRを積極的に進める。</p>

目標6	住宅確保及びIJUターンの支援	担当係	まちづくり推進係
<p>目標</p> <p>○定住促進の宅地分譲および住宅の整備 ①名子原県住跡地、上片桐専用側線跡地等など町有地を活用した宅地分譲を検討する。 ○移住・定住支援 ②空き家情報バンクの情報収集と物件の確保を進め、希望者へ情報提供を行い、定住につなげる。</p>	<p>進捗状況</p> <p>①上片桐専用側線跡地については、地域からの要望が出されたため、検討を見送っている。 ②固定資産税の納税通知書に空き家情報バンクの案内を同封し新たな物件の確保に努めた。現在の空き家物件登録数は4件(うち1件が成約済)。 ③建設課が行う空き家実態調査により実施することで</p>	<p>点検・評価 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>① ②空き家実態調査で把握した物件について、空き家情報バンクへの登録を促す。 ③建設課と連携を図っていく。 ④産業観光課と連携し、今後も移</p>	<p>改善 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①宅地分譲のニーズを調査する。 ②更なる空き家物件の確保に努める。 ③ ④積極的に産業観光課と連携し、一人でも多くの定住につなげる。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [まちづくり政策課]

第2四半期

<p>③空き家として活用可能な住宅等を調査する。 ④県内外の移住相談会へ参加し、移住希望者へ松川町に興味を持ってもらえるPRを行う。また、ホームページ等のインターネットを活用したIJUターンの情報発信を行う。</p>	<p>計画。 ④産業観光課と連携し、セミナーへ4回、体感ツアーを1回実施し、移住希望者への対応を行った。</p>	<p>住定住に向けた情報の発信を行う。</p>	
<p>目標7 健全な財政運営と効率的な行政運営</p>	<p>担当係</p>	<p>企画財政係／まちづくり推進係</p>	
<p>目標</p>	<p>進捗状況</p>	<p>点検・評価 (第2・第4四半期に記入)</p>	<p>改善 (第2・第4四半期に記入)</p>
<p>○計画的な財政運営 ①統一的な基準に基づく財務諸表作成(平成28年度決算)に向け、立木竹、公園、防災無線等未整備の資産の有形固定資産台帳整備を進める。 ②各課の実施予定事業に対する国県等の補助金や有利な起債の活用を進める。 ③社会資本整備総合交付金の有効活用と新たな計画(第三期計画)の策定を行う。 ○松川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 ④地方創生関連交付金等国の動向について情報収集に努め、交付金等の各種事業への有効活用を行う。 ○健全財政と堅実な事業実施が行える予算編成 ⑤適正な予算編成(当初及び補正)を実施するとともに、住民等へわかりやすく説明を行う。 ○自主財源の確保と松川町のファンの増加 ⑥「くだもの里まつかわ応援寄附金」制度を利用した財源確保を行うとともに、新たな町内産の返礼品及び企業版ふるさと納税の導入について検討し、寄付金額の増額を目指す。 ○情報セキュリティ対策 ⑦マイナンバー制度を見据えた、庁内ネットワーク構成の見直しを研究する。 ⑧システムトラブルが発生した際は、セキュリティポリシーに基づいた適正な対応を行う。 ⑨職員を対象としたセキュリティ研修会を開催する。</p>	<p>①委託業者と年間スケジュールについて確認、資産整理を開始。システムの導入に関しては業者への発注済。 ②地方創生加速化交付金の活用について必要な事務手続きを行い、交付決定となった。起債に関する当初申請分については国から内示があり、事務手続きを進めている。 ③現計画(二期計画)の延長申請の手続きについては国、県と事前協議は終了、変更申請の手続き中。三期計画は先送り(H30～)となった。国の補正予算に対応できるよう準備を進めている。 ④推進交付金に関する国の事前相談に参加したが(DMOの提案)、現在のところは、具体的事業の計画策定までには至っていない。 ⑤各補正へ対応した。 ⑥特産品を追加(シードル・スムージー)した。企業版については、情報収集の段階(未検討)。 ⑦委託業者とネットワーク構成案について検討中、10月発注に向けた準備を進めている。 ⑧トラブルが発生した際の対応は整えている。 ⑨未実施</p>	<p>①若干遅れ気味であるが、12月中には資産整理を完了する予定で進めている。システム導入については、スケジュール通り進められている。 ②必要な手続きを適正に行い、財源確保につながっている。 ③必要な事務手続きを行い、財源確保につなげることが可能となった。 ④新たな事業を要綱に沿って検討する必要があり、具体的申請に至るような検討まで進んでいない。 ⑤来年度予算編成に向けて、具体的方針内容を検討していく必要がある。 ⑥全国的な返礼品競争の中で、昨年度に比べ納税額が落ち込んでいる。 ⑦概ね予定どおりに進んでいる。 ⑧本年、このような事案は発生していない。 ⑨セキュリティポリシーの見直しと併せて実施方法の検討を行う。</p>	<p>①各課へ依頼すべき案件については、速やかに依頼し、整理が滞ることのないようにする。公会計移行に伴う、職員の事務手続き等変更点について整理していく。 ②地方創生推進交付金について、再度活用について職員等へ募集を行う。 ③引き続き国補正予算へ対応できるよう各課と連携をとる。 ④各課と連携して事業検討できるように継続的に各課へ情報を提供し、検討を促していく。 ⑤町の将来像を達成するために次年度各課がどのように取り組むか、方針内容を検討する。 ⑥引き続き、新たな特産品の追加について研究検討を行う。 ⑦ ⑧職員への啓発活動(グループウェアを通じてなど)を継続する。 ⑨</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [住民税務課]

第2四半期

目標1	財政の根幹である町税の課税	担当係	課税係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○納税意識の高揚を図り、広く税に関する情報を提供し、納税者が納めやすい環境を作る</p> <p>①広報紙やホームページで税に関する情報伝達を随時行う</p> <p>②確定申告時の申告相談により税の意義と納税の仕組みについて理解を得る</p> <p>③記帳義務対象者の方からの相談に応じ、正しい申告を促す</p> <p>○適正公平な課税(公平・明確な課税を行い、納税者に納得のいく説明を行う)</p> <p>④公平な住民税課税を行うため、未申告者に対する申告催告を申告相談時に合わせて行う</p> <p>⑤マイナンバー利用を広報し、申告書への記載を図っていく</p> <p>⑥固定資産税、軽自動車税について、異動処理を確実に進め適正な課税を行う</p> <p>○租税教育の推進</p> <p>⑦教育及び税務関係者が協力して租税教育を推進し、税に関するポスター(小学生)、作文(中学生、高校生)を募集し、意識の高揚を図る</p> <p>○固定資産税課税に向けた取組み</p> <p>⑧土地評価基準の作成を進める</p> <p>⑨新增築家屋の評価・異動を順次行う</p>	<p>①4広報4月号他で軽自動車の税額についてお知らせをした。</p> <p>②未着手</p> <p>③未着手</p> <p>④国保税本算定時に未申告者へ通知し申告を促した。</p> <p>⑤未着手</p> <p>⑥基準日以降の異動処理を順次行っている。</p> <p>⑦小・中学校へポスター作品応募の依頼を行い、中央小66点 北小学校22点の応募があった。7/6に税務署で小学生向けの租税教育講座研修に参加し、7/20に北小学校6年生にこの講座を実施した。</p> <p>⑧宅地の周辺状況の確認作業を順次進めている。</p> <p>⑨該当世帯に通知し、家屋評価を実施している。</p>	<p>①広報紙他を利用して税に関する情報提供ができています。</p> <p>④未申告者が申告に来庁し、一定の成果があった。</p> <p>⑥次年度賦課に向けて固定資産税や軽自動車の異動処理を順次行っている。</p> <p>⑦租税教育に向けて新たな取組みを行うことができた。</p> <p>⑧順調に進めている。</p> <p>⑨計画的に家屋評価ができていく。(9月末現在33件済)</p>	<p>①いろいろな媒体で情報提供を行う。</p> <p>②③⑤給与支払報告書の様式改正に対応した。その他準備を進め申告相談を行う。</p> <p>④過去に実績があった申告相談時にも行っていく。</p> <p>⑥⑧⑨現状どおり取組んでいく。</p> <p>⑦今後も小学校での租税講座に取組んでいく。</p>
目標2	町税の収納率の向上	担当係	徴収係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○徴収対策の強化</p> <p>①納期の翌月に督促状を発送し、短期未納の早期解消を図る。</p> <p>②中期の滞納者については、納税誓約を勧め、年度内の分割納付による未納の解消を図る。</p> <p>③長期未納者については、生活実態・滞納理由を把握するとともに、現年度分の年度内納付を行うと同時に過年度の未納を解消できる分納誓約を行う。</p>	<p>○徴収対策の強化</p> <p>①計画どおり実施し、納税について啓発している。督促状発送件数 1,418件。</p> <p>②中期末納者に対し、決算までの分納誓約を基本とし係内で再認識し、交渉を進めている。誓約件数 18件。</p> <p>③町外未納については、実態調査 96件を発送済。町内未納者には滞納整理を実施し、納税交渉を随時</p>	<p>①遅延なく発送し、今後も継続していく。</p> <p>②⑤不履行通知発送により、中・小口未納者完納があった。また、大口未納者の分納誓約に取り付けた。</p> <p>③実態調査と給与照会、預貯金調査により滞納者の実態と折衝により分納誓約にこぎつけ納付が始まっ</p>	<p>①②③④⑤短期未納者が、延滞金がつくことにより早期に納付するケースが出てきている。分納者へ延滞金の説明を今後も継続していく。</p> <p>⑬3町村での会議が始まったばかりであり、今後も予算化の時期を含めて検討を進めていく。</p> <p>⑭順調に推移しており、今後様子を</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [住民税務課]

第2四半期

<p>④滞納繰越分の減少に努めるとともに、現年度分は収納率100%とするように取り組む。(H26年度実績99.16%)</p> <p>⑤分納誓約後の誓約者管理を徹底する。誓約不履行者には毎月不履行通知を発送し、納税交渉、財産調査、滞納処分を実施する。</p> <p>○収納対策会議と効果的な集金</p> <p>⑥毎月の収納対策会議にて収納状況や情報を整理し、収納方法及び滞納整理の方針を検討する。また、各課の担当者との情報交換会議を開催し、各税・料の滞納整理を連携して実施する。</p> <p>⑦徴収班を3班編成し、毎月の戸別訪問により自主納付の督促と滞納額の圧縮を図る。</p> <p>○悪質滞納者への対処</p> <p>⑧職員による差押チームを発足させ、滞納繰越をした未納者に対し、段階的な警告通知により納税勧奨を行うとともに財産調査を実施し、滞納処分を実施する。</p> <p>⑨県税徴収対策室との協働滞納整理により困難な案件に対して折衝を行う。(町県民税に限る)</p> <p>⑩長野県滞納整理機構に困難案件を移管し未納額の解消を図る。</p> <p>⑪町単補助事業等の助成制限により滞納の解消を図る。</p> <p>⑫県および滞納整理機構主催の徴収事務研修に参加し、職員のスキルアップを図る。</p> <p>○納税環境の整備・研究</p> <p>⑬納税者の就労環境の変化に対応した24時間納付のできるコンビニ収納等新たな納税方法の研究を行う。</p> <p>⑭オフィスバンク21(定期振替分データ伝送ソフト)を利用した各銀行との振替業務の効率化を図る。</p>	<p>進めている。</p> <p>④5月より徴収班編成により、現年度を中心に滞納整理実施。分納誓約者も現年分支払いを進めている。</p> <p>⑤誓約期限から時効対象者を抽出し、再誓約を行う。不履行通知発送 39件。差押予告発送 69件。預貯金調査を実施し、過年度滞納分の分納、滞納処分を準備を進めている。</p> <p>⑥毎月収納会議により情報収集共有を実施。</p> <p>⑦5月より滞納整理実施。臨戸訪問 65件。</p> <p>⑧町外未納者対象に実態調査発送 96件。</p> <p>⑨県徴収対策室と6月に協議・連携により実施。</p> <p>⑩県滞納整理機構と4月にヒアリングを行い、5件を移管。</p> <p>6月に3件返還。1件給与差押継続 1件、自主納付継続 1件8月より給与差押予定。差押22件211千円。</p> <p>⑪町単補助事業等との連携を実施。助成制限により解消を図る。</p> <p>⑫県主催の会議及び研修会への参加している。</p> <p>⑬コンビニ収納等は、9/28 に喬木村と高森町、松川町の3町村合同の会議を開催し、当初導入経費や事務量、スケジュール等の情報を共有した。</p> <p>⑭ゆうちょ銀行と連携。</p>	<p>た。</p> <p>1件年金差押による本人誓約済み。</p> <p>④⑥⑦毎月の滞納整理(臨戸訪問、電話折衝)により、一定の効果があり、短期未納者の減少となっている。</p> <p>⑧⑩滞納者の差押可能者が減少していきいることと、以前の未納者からの自主納付が少しずつ出てきていることから、滞納処分をスムーズに実施できている。</p> <p>⑨48条を利用した県への移管が、困難解消となっている。今回、1件回収困難により戻ってきたことにより、町による滞納処分検討。</p> <p>⑩県機構での滞納経過は順調に回収いただいている。今回3件変換され、2件は町による給与差押継続、1件は自主納付継続中。</p> <p>⑪今後も継続していく。</p> <p>⑬合同会議が開催でき、広域での取組みの足がかりになった。</p> <p>⑭今年度より実施しており、事務遂行は順調。</p>	<p>見ていく。</p>
---	---	--	--------------

平成28年度 組織目標進捗状況 [住民税務課]

第2四半期

目標3	社会保障・税番号制度の導入		担当係	住民係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)		改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○情報連携のスムーズな運用開始と情報収集及び事務処理</p> <p>①情報連携に向け、運用テスト・システム改修及び補助金交付申請業務を遅滞なく行う。</p> <p>②通知カード及び個人番号カード発行交付事務を迅速かつ正確に行う。</p>	<p>①平成29年7月の情報連携に向け、担当者会議に出席し情報収集するとともに、補助金交付申請を行った。</p> <p>②マイナンバーカード交付事務を窓口にて行った。また、マイナンバーカードのご案内のほか、紛失された方への通知カード再発行事務を行った。</p>	<p>①②目標に掲げた事柄については順調に進んでいる。</p>		<p>・情報連携に向けた運用テストをスケジュール管理しながら遅滞なく行う。</p> <p>・個人番号カードの発行は確実に本人確認を行い、誤発行やマイナンバーの漏洩がないよう細心の注意を払う。</p>
目標4	住民窓口サービスの向上		担当係	住民係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)		改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○窓口利用者の待ち時間の短縮と接遇の向上。</p> <p>①諸証明の発行について迅速に対応する。</p> <p>②利用者に対し、親切・丁寧な対応を行うため接客能力の向上を図る。</p> <p>③総合窓口として、関係する課・係への案内を行う。</p> <p>④土曜日窓口、月曜日延長窓口を開設し、時間外の対応を行う利便性を高める。</p>	<p>①証明発行などの窓口業務を3人体制で行い、混雑時は他の職員がフォローに入るなど、お客様をお待たせすることのないよう迅速な対応に心がけた。</p> <p>②③正面玄関からいらっしゃるお客様や立ち止まっているお客様には積極的に声をかけ、ご用の課へのスムーズな案内を心がけた。</p> <p>④利便性向上のため土曜窓口・月曜延長窓口を開設した。</p>	<p>①②③④目標に掲げた事柄については順調に進んでいる。</p>		<p>・住基登録をより正確なものとするため、複数人による入力チェックを行い、誤記載、記入漏れを防ぐ。</p> <p>・よりスムーズにお客様の案内が行えるよう、事前に会議の予定や提出書類の有無を把握しておき、関係課と連携を図る。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [保健福祉課]

第2四半期

目標1	次世代の担い手を育てる環境づくり	担当係	福祉係・保健予防係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○次代の親の育成（結婚・出産等の支援） ①若者を対象にした「未来デザイン講座」を開催する。 ②松川町結婚相談所及び「愛ねっと北部」と連携を密にして、結婚相談事業を効果的に実施する。 ③めばえ支援事業（不妊治療・不育治療）実施の周知を図り、出産を望む夫婦への支援を行う。</p> <p>○子どもや母親の健康の確保 ④妊婦健診や両親学級での相談・指導を実施し、両親が安心して出産を迎えられるよう支援する。</p> <p>○子育て世帯への経済的支援 ⑤「出生子育て支援金」を交付するとともに、窓口アンケート等により事業の効果検証を行う。 ⑥児童・障がい者・年金受給者等に対し福祉医療助成事業を実施し、対象者の医療費負担軽減を図る。 ⑦児童手当の定期払・随時振替払を適正に実施する。</p> <p>○乳幼児健診・乳幼児相談事業 ⑧月齢や年齢に応じて健診や相談・指導を行い、母親の育児不安の解消・育力形成と、子どもの健やかな発育・発達を支援する。</p>	<p>①地域少子化対策重点交付金事業の交付決定を受けた。11月5日（土）に実施予定。 ②町相談所77名（うち愛ねっと北部61名）が登録されている。毎月の結婚相談所では8名が相談に訪れた他、7件が進行中である。 ③町公式ホームページで、県の補助制度とあわせて周知。電話での個別相談も寄せられている。 ④妊婦健診補助は延べ663件（7月受診分まで）。両親学級を2回開催（出席者12名）。 ⑤出生子育て支援金は、9月末時点で46名（第1子17人、第2子18名、第3子10人、第4子1名）、2,660千円を支給決定した。 ⑥福祉医療費は、9月末時点で延15,464人の医療費に対し、37,504千円を給付した。 ⑦児童手当は、9月末時点で延13,055人、74,310千円を給付した。 ⑧月齢、年齢に応じた乳幼児健診・相談を毎月実施している。乳幼児健診受診者数389名（9月末現在）。</p>	<p>①今後、講座の実施に向け詳細な内容を詰めていく。 ②上半期の段階において、成婚実績はない。 ③椎名レディースクリニックの閉院に伴い、当該施設での受診者の扱いを検討する必要がある。 ④未熟児支援について、2ヶ月前訪問の実施や、県や病院と連絡調整を引き続き密に行なう。 ⑤支援金の額について、申請者の73%が、「充分である」との回答を得たが、給付方法については40%が「全額現金が良い」との回答があり、制度については検討の余地がある。 ⑥福祉医療費は、特に支障は見当たらない。 ⑦児童手当は、特に支障は見当たらない。 ⑧時代の変化に即した健診の在り方を検討する必要がある。</p>	<p>①受講者の確保が課題であり、商工会青年部、公民館、消防団等に事業の周知を図るなどにより参加者の確保を図る。 ②結婚相談所は、登録者の成婚意識を更に高めるため、登録機関を新たに設け、3年更新制とした。 ⑤1年間のアンケート集計結果からより良い制度を検討していきたい。 ⑧集団指導の内容や健康管理票、問診票の見直しを行う。</p>
目標2	支え合い、認め合う福祉のまちづくり	担当係	福祉係・高齢者係 ・地域包括支援センター
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○民生児童委員活動の充実 ①民生児童委員一斉改選事務を遅滞なく進める。 ②民生児童委員のスキルアップとノウハウの蓄積を図るため、定例会において事例検討並びに情報の共有を図る。</p>	<p>①改選区10名について、期限の8/17までに候補者を決定し、県知事宛推薦した。 ②6月、7月施設見学、9月定例会で事例に基づく事例検討を行い、スキルアップを図った。</p>	<p>①負担の大きさから3期の依頼が難しくなっている。負担軽減できるところは、見直しをしていく必要がある。 ②上半期は、北部ブロック研修総会の当番町でもあり議題が多く、事例検討に時間を充てるのが難しかった。</p>	<p>①次回改選期には、早期に意向確認を行い推薦委員会を開催するとともに、行事等への参加要請もスリム化させたい。 ②改選により委員が新しくなることから、下半期は事例検討に重点を置いた定例会としていく。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [保健福祉課]

第2四半期

目標2	支え合い、認め合う福祉のまちづくり(つづき)	担当係	福祉係・高齢者係 ・地域包括支援センター
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○生活支援制度の利用支援 ③臨時福祉給付金の適正給付に努め、未申告者への丁寧な対応により、給付率を高める。</p> <p>○松川町地域活動支援センターあすなろの運営 ④屋外での事業を取り入れるなど、レクリエーション、就労体験を通して利用者の社会参加を図る。</p> <p>○障がい福祉サービス利用のための相談支援の充実 ⑤障がい者の区分判定及び支援計画の作成を適正かつ迅速に行い、適切な給付に結び付ける。</p> <p>○地域福祉を推進するひとつづくり ⑥認知症キャラバンメイト協議会、地域ボランティアセンターと認知症地域支援推進員が協力し、早いうちからの認知症理解を推進するため、小中高生向けの認知症サポーター養成講座を開催する。</p> <p>○福祉サービスの充実 ⑦認知症初期集中支援事業により、認知症の疑いのある方、認知症で苦慮している家庭へ、病院受診支援、介護予防プログラムの提案等、医療・介護の側面から支援を行う。 ⑧認知症地域支援推進員により地域における認知症理解の普及啓発活動を行い、地域見守り活動の支援を行う。 ⑨認知症カフェ(オレンジカフェ)を、コミュニティ・カフェ内に立ち上げ、MCI(軽度認知症患者)及びその家族の憩いの場を提供する。 ⑩地域包括ケアシステム推進の一環として、介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な推進を図り、生活支援コーディネーターにより生活面も含めた介護予防を推進する。 ⑪運動器の機能向上及び認知症予防の一環として、新規にインターバル速歩事業を行う。</p>	<p>③高齢者向けの給付金については、8月末時点で対象者の96.7%(1,387人/1,434人)の申請を受け付け、遅滞なく給付を行った。</p> <p>④地域活動支援センター「あすなろ」は、9月末時点の登録者が27名(定員10名)、上半期平均利用者数は6.8人/日。ハイキングなどの屋外活動、図書館利用、新聞を使って考えることを中心にした活動に取り組んでいる。</p> <p>⑤H28年度中の更新予定26件の内9件、新規5件の区分認定調査が完了、円滑なサービスの提供に結びついている。</p> <p>⑥6/8に中央小学校、北小学校の6年生を対象に実施し、120名余の児童が受講した。</p> <p>⑦新規相談18件、訪問延回数149件、チーム員会議6回(20ケース)実施した。</p> <p>⑧9/25認知症普及啓発の一環として、認知症普及啓発全国タスキリレー「RUN伴TOMO-RROW in NAGANO 飯田地区」へ包括・集中チーム・推進員等計9名3チームで参加し、認知症理解への普及啓発活動を行った。</p> <p>⑨第3四半期前半で準備会を開催、年明けの設置に向け準備を進める。</p> <p>⑩個別事例検討されたゴミ排出困難者支援について、9/7地域ケア会議第2層会議にて、生活支援コーディネーターを中心に対象者の実態調査を行なうことが決まった。</p> <p>⑪7/30開校式後、8/6採血、9/3指導日と、参加者に脱落者なく進んでいる。</p>	<p>③未申請者に対する申請の催告を適宜に行えたため給付率が高かった。</p> <p>④1日平均利用者数は、昨年度後半からほぼ横ばいの状況。利用者が挫折したり、就労支援施設へ移行するため利用者数は右肩上がりには上がらない。</p> <p>⑤障害区分認定総数の45%(新規含む)の作業が終了しており、順調に進んでいる。</p> <p>⑥小6向けの認知症サポーター養成講座が単発で終わることのないよう学校側と協議した。また、中学2年生の福祉学習のメニューに盛り込む確約ができた。</p> <p>⑦訪問による本人・家族支援、病院受診同行等順調に取り組めた。</p> <p>⑧高齢者クラブへ出向くなど地域活動ができた。地区住民を交えた見守り支援対象者はいなかった。</p> <p>⑨関係機関への周知は行ってあるので、第3四半期早々に準備会を開催していく。</p> <p>⑩第2層会議に環境水道課職員の参加があったことは進展。専用ステーション設置に向け前進した。</p> <p>⑪保健予防係側からのアプローチでも参加できなかった方の参加が、今後改善につながれると考えられる。</p>	<p>③10月受付開始の「H28年度臨時福祉給付金」、「年金受給者向け給付金」については、分かりやすい広報に努め、給付率を高めていく。</p> <p>④他施設では、障がい者と健常者が気軽に立ち寄れる居場所として位置付けているところもあり、一般の方のイベント参加を通じ幅広く連携できる体制の検討が必要。</p> <p>⑤引き続き取り組みを行う。</p> <p>⑥講師役のメイトが大勢いるが、特定のメイトに偏らないよう協議会を開催し、打合せ会(研修)を行なう必要がある。</p> <p>⑦疾患センター受診時のチェック票(疾患センター側)の提供連携が徹底していないことは、医師会も含め強く依頼していきたい。</p> <p>⑧第3四半期は地区での行事も多いため、地区行事の少ない第4四半期に向けた取組を検討する必要がある。高齢者クラブ学習会も予定されているので絡めて考えたい。</p> <p>⑨カフェの多様な利用推進のため、当事者をはじめ介護者教室(社協補助事業)も絡めて検討する必要がある。</p> <p>⑩ゴミステーション設置に向けた制度・ルールづくりを、実態調査(50サンプル)を踏まえ行なっていく。</p> <p>⑪第4四半期に採血を中心とした評価を行なうが、フォローも含めたその後の展開を今から準備しておく必要がある。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [保健福祉課]

第2四半期

目標2	支え合い、認め合う福祉のまちづくり(つづき)	担当係	福祉係・高齢者係 ・地域包括支援センター
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>⑫第6期介護保険事業計画期間中に運営状況を点検し、適切な介護給付に努める。</p> <p>○地域福祉の基盤整備</p> <p>⑬老人福祉センターの耐震診断を実施し、診断結果を踏まえ今後の施設整備計画を検討する。</p>	<p>⑫9/30県適正化事務局より提供のあった「業務分析データ」の解析に着手した。</p> <p>⑬第1四半期にて耐震診断補助金事業活用申請をした。第3四半期にて業選にかけていく。</p>	<p>⑫住宅改修事業に係る現場調査では、適正化を図るべく過剰な改修を抑えることができた。</p> <p>⑬早期着手できなかった。</p>	<p>⑫適正化には専門知識が必要であるため、研修等に積極的に参加する必要がある。(11月北部で研修予定)</p> <p>⑬診断後の方針について検討を進めておく必要がある。</p>
目標3	健康で暮らし、安心して医療が受けられるまちづくり	担当係	保健予防係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○健康まつかわ21の推進</p> <p>①積極的な受診勧奨により総合健診と保健指導の実施し、受診者数540人を目指す。</p> <p>②40歳から74歳までの国保加入者に特定健診を実施し、受診率52%を目指すとともに、特定保健指導を実施する。特定保健指導対象者に対しては動機付け支援、積極的支援を行う。</p> <p>③健康学習会を各種団体や自治会等において実施する。</p> <p>④意向調査票を有効活用し、がん検診受診を促す。</p> <p>⑤新型インフルエンザ行動計画を、総務課危機管理係と連携し、町内医歯会の意見を聞き、パブリックコメントを経て平成28年9月までの策定を目指す。</p> <p>⑥各ライフステージに応じた食育学習を推進する。</p> <p>○医療救急体制の充実</p> <p>⑦地域中核病院となる下伊那赤十字病院への運営助成を行うとともに、運営協議会の場などを通じて、情報共有や意見交換を行う。</p> <p>⑧長野県等関係機関と連携し、医師確保に向けた働きかけを行う。</p>	<p>①総合健診を7月に実施(参加者325名)。10月の検診もチャンネルYOUの音声放送等を通じて受診勧奨を行う。</p> <p>②9月末までの健診受診者598名。受診者には毎月結果説明会を実施。未申込者にハガキで受診勧奨を行った。</p> <p>③認知症やがんをテーマとした健康学習会を22自治会、4団体で実施(9月末現在)。</p> <p>④8月末までの受診者は合計で2,068名。</p> <p>⑤8月に松川町医歯会を開催して有識者の意見を聞き、9月社会文教常任委員会に報告し完了した。</p> <p>⑥乳幼児健診にあわせて、母子栄養指導を実施。部奈つつみ会、上大島親子会等団体への学習支援を実施している。</p> <p>⑦特別交付税が8割措置になったことに伴う運営費補助の今後の対応について、7月に町村会を通じ国・県へ支援策について、要望活動を実施するよう働きかけた。9月の委員会、全員協議会でそれぞれ説明を行った。</p> <p>⑧町村会を通じて、公的病院の維持や医師の確保に向けた要望を国・県へ行うよう働きかけをしている。11月に要望活動を行う予定。</p>	<p>①より受診しやすい実施方法について検討する必要がある。</p> <p>②未受診者の健康状況の把握と、受診率向上に向けた対策が必要。</p> <p>③自治会や団体の希望にあわせたテーマや日程の学習会を引き続き実施していく。</p> <p>④20代、30代の方から、乳房検診受診補助を希望する声が多く寄せられている。</p> <p>⑤具体的な実施体制の整備を進めていく必要がある。</p> <p>⑥食育全体の推進方針や方向性を検討する必要がある。</p> <p>⑦特定健診のデータ提供等も踏まえた協議を日赤と行う。</p> <p>⑧要望活動以外の方策についても検討が必要。</p>	<p>①検査場所を1日1カ所にする。尿検査キッドの事前送付を試験的に行う。</p> <p>②日赤と特定健診のデータ提供の協議を行う。</p> <p>④平成29年度にむけて、若い世代の乳房検診補助について検討する。</p> <p>⑤特定接種の登録や、訓練実施の検討を行う。</p> <p>⑧町内医師会等で情報交換の場を設ける。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [産業観光課]

第2四半期

目標1	農地／鳥獣被害防止	担当係	農林係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>(農地)</p> <p>①農地中間管理機構(県農業開発公社)、農地利用集積円滑化団体(JAみなみ信州)、農業委員と連携した農地あっせん(売買、貸借)を推進する。</p> <p>②遊休農地対策(遊休農地対策会議、農地パトロール、利用意向調査、ふれあいガーデン、いもくらぶ、食べるほう好き、景観作物補助、耕作放棄地交付金活用等)を実施する。</p> <p>③農業振興地域整備計画の見直し(非農地判断)について、土地所有者による地目変更登記への準備事務及び法務局協議を進める。</p> <p>④農業委員会制度改正に伴う制度改正(職務、選出方法、組織構成等)を農振協議会、農業委員会、関係団体と検討し確定する。</p> <p>⑤農用地利用調整(営農支援センター)に取り組むとともに、農業経営アンケート調査(H26実施)の結果を基に担い手農家への農地集積を図る。</p> <p>(鳥獣被害防止)</p> <p>①有害鳥獣による被害を最小限に食い止めるため、侵入防止柵の管理運営及び総合対策(GPS、追い払い、大型捕獲檻設置、対策研究等)を有害鳥獣駆除対策協議会と連携し進める。</p> <p>②自然保護及び有害鳥獣駆除のため、有害鳥獣駆除班と猟友会活動の支援を行うと共に、連携し総合対策や捕獲駆除に繋げる。</p>	<p>(農地)</p> <p>①,⑤みらいへ地域連携推進員、経営相談員を配置し、売買(10件、3.2ha)と貸借(38件、12.5ha)のあっせん調整を行った。</p> <p>②5月に農振協議会において遊休農地対策会議を開催した。ふれあいガーデンは18/22区画の契約を結び、いもくらぶは6月に苗植え作業を行った。9月には農業委員による農地パトロール(利用状況調査)を実施した。</p> <p>③変更協議について地方事務所農政課と引き続き協議中。年内を目途に回答を欲しいと要望した。</p> <p>④5月の農振協議会において制度改正案の検討を行い、地区及び関係団体からの了承も得られた。9月議会で承認され定数条例を制定した。</p> <p>(鳥獣被害防止)</p> <p>①5月に有害鳥獣駆除対策協議会で計画が承認され、8月に交付金の交付決定を受けてGPS、大型捕獲檻を発注した。西山に設置したサル大型捕獲檻は4月から6月の間で6頭の捕獲。</p> <p>②5月に猟友会総会を開催し、役員が改選された。熊の目撃情報が6件、錯誤捕獲が4件(5月～9月)あり、注意喚起や放獣の処理を行った。</p>	<p>(農地)</p> <p>①,⑤推進員・相談員・農業委員と連携を図り進める。</p> <p>②農地利用状況調査と合わせて農地転用許可後の状況調査を行った。地域おこし協力隊の活動において、遊休農地を利用した活動がされている。</p> <p>③認可がおりたら速やかに事務が行えるようにしておく。</p> <p>④農業委員・推進委員の選出にあたり、推薦と公募を進める。</p> <p>(鳥獣被害防止)</p> <p>①サル(特に西山、諏訪形)は農業被害に加え人への威嚇など課題が多い。</p> <p>②防護柵等の効果によりシカ・イノシシの捕獲数が減っている。その影響で報奨金が減っているため、猟友会の運営へ支障が出ている。</p>	<p>(農地)</p> <p>①,⑤農地中間管理制度(貸借や売買支援等)について事業の周知を図り、長期間の貸借については中間管理事業を推進していく。</p> <p>②農地利用状況調査結果を利用意向調査につなげる。</p> <p>③認可後の事務処理の準備を進める。</p> <p>④12月の切り替え後も農業委員会が機能するよう準備していく。</p> <p>(鳥獣被害防止)</p> <p>①侵入防止柵等の継続的な維持管理につながるよう調査を実施し情報を収集する。防護、捕獲、追い払い、誘引物除去など総合対策を継続して進めていく。</p> <p>②猟友会が運営できるよう、予算確保について検討する。</p>
目標2	林業・森林	担当係	農林係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>①森林の重要性や恵みを楽しむことができるよう、およりの森づくりに関わっていただいている関係団体や関係者との連絡会議を開催し、連携を図る。</p> <p>②全国植樹祭の飯田下伊那地域植樹祭(およりの</p>	<p>①4月に連絡会議を開催し、将来構想や整備計画について意見をいただいた。もみじの会による遊歩道沿いの除伐が5月に行われた。</p> <p>②5/22に植樹祭を開催し約600人が参加。46種類、約</p>	<p>①大きな動きはないが、個々には関係を維持している。</p> <p>②植樹後の除草やアカシヤ対策を森林組合へ委託発注し管理してい</p>	<p>①,②定期的な集まりの機会をつくり、アドバイザーや関係者等の意識や関係を保っていく。</p> <p>③関係者と協議しながら進める。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [産業観光課]

第2四半期

<p>森物見の丘)を県と連携し開催する。 ③池の平地籍町有林について、民間事業とも連携しつつ、観光資源としての周辺整備(更新伐)を進める。 ④松くい虫被害防止のため、伐倒駆除及び更新伐事業を活用した樹種転換を実施する。また、補助対象にならない区域の被害木は町の助成制度のPRに努め、実効ある推進を図る。 ⑤町外者によるキノコ採取防止と山の魅力を知る機会を提供するため、生田地籍において町有林茸山入山鑑札制度を実施する。 ⑥林道の適切な維持管理のため、林道整備及び維持補修を実施する。 ⑦治山治水事業について、危険箇所早期発見と県への対策要望を実施する。</p>	<p>2,000本を植樹した。午後は森林教室を開催した。また6/5には理事者、議会、関係者が全国植樹祭に出席した。 ③さんさんファームや隣接地権者等と周辺整備について協議を進めた。 ④県補助事業分2件284㎡と、国補助事業分2件205㎡を委託発注し駆除を進めた。 ⑤生田3区長や森林組合等と協議し、9/1から実施した。無料対象者を中学生から高校生までに拡大した。 ⑥5月大雨によりウッドチップ等が流出したが、応急対策として土嚢により処置を行った。8月に本復旧工事が完了した。9月の台風影響で間沢川線の路肩が崩落した(通行可)。 ⑦今年度は町谷豊返堰堤と部奈吹付の工事が実施される予定。5月大雨により片桐ダム下町有林から土砂が町管理道路へ流出、対策として大型土嚢を設置した。</p>	<p>る。 ③さんさんファームからサル対策も兼ねた観光資源として、町有地でサフォークを飼いたいとの提案があり基本的な承諾について回答をした。 ④生東・部奈地区から駆除要望を募り、要望申請を受付けた。 ⑤看板増設、報道、検問等による周知や警戒に努めている状況。 ⑥災害復旧事業の査定、申請手続きを進めている。 ⑦各地区から来年度要望を募り、要望申請を受付けた。</p>	<p>④12月までに全て完了するよう施工管理する。 ⑤購入者、森林組合、林業団体等から様子や意見を伺い次につなげる。 ⑥地元、県、コンサルタント等と協議し進めていく。 ⑦現地調査を行い、県へ要望する。</p>
---	---	--	---

目標3	地域を丸ごと楽しめる観光づくり(観光/リフレッシュタウンまつかわの里)	担当係	商工観光係/まつかわの里
-----	-------------------------------------	-----	--------------

目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>(観光)①地域おこし協力隊の加入もあり、新たな松川町の魅力を掘り起こし、発信していく。 ②観光協会での積極的な活動(おもてなし研究会)等により、各種の観光キャンペーン等を効果的に実施する。ツアー企画2年目となり新しい魅力を発掘、発信する。 ③観光PR、販路拡大のため、農園や事業者自らが販売PRを行う農産物販売・観光キャンペーン[3年目]を展開する。首都圏銀座NAGANO及び中京圏での観光キャンペーンを検討。 ④地域案内人「おいなんよ松川」[4年目]の活動は、新規会員の募集等も行い、講座・案内を定期的実施。 ⑤農村交流センターみらいの観光案内所機能として、直売所等との連携を図る(情報交換会の開催[3年目]等)。また観光案内を充実する。 ⑥法人化を見据え、日本版DMO(松川版DMO)に</p>	<p>(観光)①昨年度からの3名と、新年度2名の加入で5名体制。各自、独自の活動を進めている。 ②東御市・小諸市への視察実施。5月のツアーでは新たにさんさんファームでのランチ提供も実施。41名が参加。観光局の説明会実施。(幹事・全体) ③7.8.9月ヒルズマルシェ参加。新規の農家あり。新たに愛知県アピタ伊根沢東店に松川町マルシェ出店。4農家参加。生鮮品が喜ばれ、今後の計画を検討したい。 ④おいなんよ松川自らが企画した学習会ツアーは、事前の準備不足もあり参加者なし。しかし、積極的な活動が行われている。新メンバー1名加入。 ⑤9月までのくだもの狩り来場者数32,767名 6月～9月HPの訪問者数36,000人余 8月までの電話での問合せ1050軒余り 統計を取りまとめ中。 ⑥議会への説明、関係団体への説明を行い、観光局</p>	<p>①任期半分を過ぎる隊員もおり、将来の展望を確定する時期にある。 ②秋のキャンペーンも首都圏、中京圏と実施している中、町のブランディング等、もう一度見つめなおしたい。 ③生産者と消費者が出会い、話をして購買につながる、ファンになる活動として実施中。 ④メンバーがそれぞれ考え、案内について検討が行われている。旅行者からの申込等はまだない。 ⑤サクランボ狩りは順調であった。9月長雨による影響があった。 ⑥10月より設立準備室を配置し、十分に慎重に目的・役割・展望等を検</p>	<p>①町民の求める活動であるかを含め、面談等により将来を見据えての活動としたい。 ②観光局の準備検討が進む中、松川町のあるべき姿を見つめなおし、広告戦略等練っていききたい。 ③アピタ稲沢東店では半年前からの事前準備が必要とのこと。次年度へ向けての準備を実施。大阪での販売の相談もあり検討中。 ④新メンバー加入の促進が必要。学習会のまとめを早急にしたい。 ⑤今までにとったことのない統計資料。広告、販売戦略につなげたい。 ⑥広く住民の意見を聞き、合意を得ながら進める。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [産業観光課]

第2四半期

<p>について研究する。</p> <p>(リフレッシュタウンまつかわの里)</p> <p>①清流苑における昨年度総利用者数183,739名、内宿泊者数17,992名である。よって、本年度は、総利用者数180,000人、宿泊者数18,000人を目標値とし安定経営に努める。</p> <p>②スポーツ施設については、屋内スポーツ施設及びテニスコートの一層の利用充実に向け新たなサークル活動を実施することにより、利用促進をはかる。</p> <p>③温水プールにおいては、昨年度41,964名と利用促進を図ることができた。本年度目標数値としては、42,000人とする。新規事業として、イベント(水中パフォーマンスショー)を9月初旬に実施することにより、温水プールのPRに努めながら新規利用者を含めた、利用促進をはかりたい。</p> <p>④フォレストアドベンチャー松川については、予算目標数値5,639名とし進める。毎日の点検、定期的なレスキュー訓練により安全第一を一番の目標として運営をする。</p> <p>⑤青年の家利用を含め、法人化に向けて早急に結論をだし、決定した場合は、次年度より実施できるように事前準備をすすめる。</p>	<p>設置の準備を実施。視察、リーダー研修等を開始。</p> <p>(リフレッシュタウンまつかわの里)</p> <p>①目標達成となるよう、四季情報としてDMの発送を、随時行い情報発信を行うことによりリピーターへの集客に努めている。またHPやSNSを利用した情報発信を随時行っている。</p> <p>②屋内スポーツ施設を利用した、新規スクール等を開校し、今まで利用度の少なかった平日の昼間対応として集客できるよう実施している。</p> <p>③9月水中パフォーマンスショーの開催を実施。約200名の方の参加をいただいた。</p> <p>④現在、毎月昨年数値を上回っており、順調に推移している。その中においても、安全第一を最優先にすすめている。</p> <p>⑤青年の家あと利用については、1度立ち止まり、何が本当に必要なのか議論を深めている。また、観光局(仮称)については、外部アドバイザーをいれ、10月1日より準備室と、観光交流を手段とした、地域づくりについてスタートしている。</p>	<p>討していく。</p> <p>(リフレッシュタウンまつかわの里)</p> <p>①春夏と2回DM実施をし、利用促進をはかることができている。</p> <p>②スポーツ施設については、テニス、ヨガなど新規教室の実施をはじめ、利用促進をはかっている。</p> <p>③水中パフォーマンスショーを実施。約200名の方にご覧いただき利用促進をはかることができている。</p> <p>④9月の長雨、台風、により利用者数の減少はいなめないが、本年度の目標値に向け安全第一で進めている。</p> <p>⑤準備室をスタートし、外部アドバイザーとすすめるなかで、確実に進んでいると実感している。ただし、青年の家については、課題も多く、さらなる検討が必要である。</p>	<p>(リフレッシュタウンまつかわの里)</p> <p>①名古屋県人会等、関係団体の皆さんとの連携により一層の充実をはかりたい。</p> <p>②今後は、利用者の増と継続が必要となってくるので、よい口コミとなるよう丁寧すすめていきたい。</p> <p>③事業完了</p> <p>④自然の天候によるものであるが、通年をとおしての利用促進について、企業研修等を含め、もう1度情報発信について検討をしてみたい。</p> <p>⑤平成29年3月に照準をあわせていたが、平成30年3月としたことにより、住民との協働による事業運営ができ、先がみえる計画となったことは、将来において大きな決断だったと思う。今後、職員、議会、関係団体、町民の皆さんとさらなる検討の場をもうけ、着実に進んでまいりたい。青年の家については、関係課と協力し、町としての議論の終着点を早急に見つける必要があると考えている。</p>
---	--	---	---

目標4	地域に密着した商業と力強い企業を育む工業づくり(商業/工業/企業支援)	担当係	商工観光係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>(商業)</p> <p>①地域活性化や賑わい創出事業として商工会等が主催する各イベントへの支援を行う。</p> <p>②あらい商店街連合会と連携し、「まつかわ・すたいる」ランドデザインを構築し、商店街活性化や空き店舗対策についての検討を積極的に支援する。</p> <p>③【新】店舗リフォーム補助を実施し、商店の魅力アップ並びに町内業者利用により地域経済活性化を支援する。</p> <p>(工業)</p> <p>①(拡)工場等設置事業補助金制度の対象範囲を広げ、各種制度資金等による支援を行い、長期の安定</p>	<p>(商工)</p> <p>①あらい祇園祭りへの支援として、シャトルバス1台走行。ぺっかん楽市の準備。</p> <p>②「まつかわ・すたいる」を支援し、商店街活性化事業の推進。グループに分かれ、店舗先でのPR、映像の作成、フリーペーパーを作成。空き店舗対策のため、家賃交渉等を実施した。</p> <p>③店舗リフォームを新しく実施。15件申請。100万円の予算に達し終了。</p> <p>(工業)</p> <p>①20社、10,695千円。6月補正にて対応。対象を増やし、商工会加入を条件に実施。商工会新規加入3社。</p>	<p>(商工)</p> <p>①商店街が実施する事業への支援によって活性化が図られている。北部5町村ツアーにて祇園の見学実施。外から見たときの新井の良さが認識された。</p> <p>②地域の人が月に2~3回も集まり、議論が交わされた。商店街の魅力アップにつながれば。</p> <p>③今年度の店舗リフォームは終了。商店街でも新井の交差点付近で外装の工事が行われ、きれいに整い</p>	<p>(商工)</p> <p>①ぺっかんは新たな取り組みの第1歩。大勢の人に集まってほしい。</p> <p>②映像・タペストリー・フリーペーパーが完成。一過性のものとならないように継続や拡充が必要。空き店舗利用の打合せも必要。</p> <p>③創業支援事業計画の申請を行い、来年から実施できるように。既存の商店への支援のほかに企業者への支援も検討。</p> <p>(工業)</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [産業観光課]

第2四半期

<p>操業を支援する。 ②(継)住宅リフォーム補助制度を実施し、地域経済の循環を図る。 (企業支援) ①商工会が行う振興施策(小規模企業指導事業等)を支援する。 ②町内既存企業へ定期訪問と町外にある本社訪問を行うことにより情報交換を行い、連携関係の構築に努める。(松川インター企業団地予定地の地権者へは随時情報伝達を行い、意思の疎通を図っていく。) ③松川インター企業団地への企業立地を推進する。 ④南信州・飯田産業センターを活用し、町内企業の(人材)育成や技術支援に取り組むと共に、企業の受注対策及び販路拡大を支援する。(展示商談会補助金、機械要素技術展ツアー) ⑤無料職業紹介所を運営するとともに、町内企業と連携した就職ガイダンス等を企画実施する。【新】</p>	<p>申請漏れ等あり、4社 150万円予算増。 ②住宅リフォーム補助は6年目を迎え、27年度までに517件が実施済み。69件497万円。残り103万円。 (企業支援) ①商工会からの補助金申請。交付決定済1,220万円。 ②松川インター工業団地、生田工業団地を紹介。訪問計画は未実施。 ③県からの工場団地等の問い合わせに対して回答。また、リニアガイドウェイ誘致を検討中。 ④企業による展示会等への出店補助の申請は、14件116万円。 ⑤無料職業紹介所に雇用就業相談員2名を6月末より配置。企業訪問、学校訪問の実施。 松川町就職ガイダンスを実施。参加企業19社。参加者59名</p>	<p>つつある。 (工業) ①対象範囲を広げたことにより、安定操業が図られるのでは。 ②リフォームにより、居住の快適さが生まれるとともに、町内建設業のみなさんへの経済波及効果も生まれている。 (企業誘致) ①商工会との連携を密にし、支援を実施。 ②未実施 ③まちづくり政策課と合同でガイドウェイの地権者説明会を実施する。 ④企業からの要望により展示会補助実施。 ⑤ガイダンスの希望や、IJUターンへの働き替えについて企業より希</p>	<p>① 特になし ②6年目となり、対象者が減少しているように感じる。今後の続け方の内容検討が必要。 (企業誘致) ①あっせん審議会での検討内容を事前に商工会と打合せ、協議を行う必要がある。 ②工場増築や移設などの相談あり。地権者や国等々調整役となれるように内容を精査する必要がある。 ③まちづくり政策課との協力体制により地権者の意向を確認し、新たな方向性を探る。 ④新規企業の開拓も。 ⑤相談員による訪問実施で、企業や学校の要望を集め、来年の事業計画に生かす。</p>
---	--	---	---

目標5	付加価値の高い農業づくり(農業生産／中山間)	担当係	農業振興係
-----	------------------------	-----	-------

目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>(農業生産) ①農業生産強化に関する支援(果樹品種更新、花き振興、共済補助、利子助成等)を実施する。 ②通年の農業災害対策本部を設置するとともに、気象変動に強い果樹産地づくりを推進するため、被害予防や対策を支援する。 ③国の農政改革に対応するため、水田農業の調整等の取組みを進める。 ④農地・経営相談員を新たに設置して、六次産業化に対する相談を受け、営農強化支援、付加価値化推進を図る。【新】 (中山間) ①山村交流促進施設梅松苑について、検討委員会から今後の利活用の方針を受け、9月までに新たな指定管理者による施設運営を目指す。【新】</p>	<p>(農業生産) ①各種支援事業を申請に基づき随時実施している。 ②4月より通年の農業災害対策本部を設置し、被害予防や凍霜害調査、台風被害調査を実施した。 ③水田農業の調整について実施完了。 ④農地・経営相談員を新たに設置して、6次産業化に対する補助金申請事務の支援を実施している。 (中山間) ①山村交流促進施設梅松苑について、選定委員会(計3回)により指定管理者を決定(6月議会議決)、7月協定書を締結し、9月オープンした。</p>	<p>(農業生産) ①予定どおり進捗している。 ②今年度、半年経過したが大きな農業災害被害は発生していない。 ③計画どおり完了した。 ④農地・経営相談員に国・県と農業者との調整役を担ってもらっている。 (中山間) ①9月より営業スタートし、松茸観光に期待が大きい。</p>	<p>(農業生産) ①正確で迅速な事務処理を実施していく。 ②強い産地づくりの補助(防霜ファン、防霜剤)をPRする等、凍霜害に備える。 ③H30年度に国の生産数量目標が廃止となることに伴い、それへの対応について関係機関と協議を進める。 ④六次産業化の情報収集や可能性を広く研究し、農業者へ情報提供や相談を行っていく。 (中山間) ①今年度は、新たな指定管理者による営業がスタートし試験運用の形であるが次年度からは本格運用になる。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [環境水道課]

第2四半期

目標1	環境美化・衛生の向上	担当係	環境係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○環境美化活動の普及</p> <p>①中広い町民参加による環境美化活動を展開するため、ごみゼロ運動推進協議会を開催し、運動の検討を行う。</p> <p>○情報提供の充実</p> <p>②エコバスツアーを開催する。</p> <p>③環境大使と、環境学習・意識高揚を目的としたイベントを企画・実施する。</p> <p>○不法投棄の撲滅</p> <p>④環境調査員と連携し、監視と速やかな処理対応を行うと共に、常習地区への看板設置ほか対策を施す。</p>	<p>①推進連絡会構成団体に運動の取組み依頼と、事業計画・実績調査を実施。</p> <p>②11月下旬開催予定、未着手。</p> <p>③4月に環境大使との打合せを行った。北小学校4年生の最終処分場見学を受入(6月)。</p> <p>④調査員会議を5月に開催。第1四半期調査員報告書を取りまとめ。不法投棄通報事案20件を処理し、河川関係は、音声放送を行った。</p>	<p>①区・自治会等各団体毎で取り組みをされている。</p> <p>②事業企画、参加者募集を進める。</p> <p>③エコ教室について、大使と小学校との調整が遅れている。</p> <p>④特定井水で、ごみの流下が頻繁に見られ、苦情がある。看板の汚損がある。</p>	<p>①幅広い町民参加を促す、全町活動への発展を検討する。</p> <p>②参加者募集を10月実施。</p> <p>③日程、企画調整を、両者で行う。</p> <p>④井水の上流部沿岸の調査を地元と行い、対策検討を自治会と協議。発生事例を、写真等を使い広報紙、HPへ逐次掲載する。常習箇所(153号線への看板設置を道路管理者と協議する。</p>
目標2	廃棄物の適正処理	担当係	環境係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○燃やすごみの適正処理</p> <p>①次期ごみ焼却施設供用に関わる、排出及び収集方法等の変更について、北部地区町村との共同事業を含め決定する。</p> <p>②水分減量対策として、水しぼり器の使用モニター調査を実施する。</p> <p>○廃棄物最終処分場の管理</p> <p>③生田最終処分場の残容量調査を業務委託し、今後の埋立計画と施設整備について検討を行う。</p>	<p>①廃プラスチックの排出実態調査(5月)、ステーション状況調査(8月)などから、対応方針について議会協議を行い同意を得た。北部地区北部衛生事務協議会では、新ごみ袋の共同製作工程等を協議。</p> <p>②未着手</p> <p>③調査を業務委託し、成果を基に利用期限推定を行った。</p>	<p>①調査結果より、月曜日収集が4割超で、集積庫対策の必要が判明した。</p> <p>②女性グループでは、生ごみを出さない家庭がほとんどで、調査依頼まで至っていない。</p> <p>③処分場埋立利用期限の見込をつけることができ、また次回の精密調査が容易となる基準点設置ができた。</p>	<p>①ステーション代表者へ集積庫拡大の検討を働きかける。</p> <p>②調査対象を変更して、依頼する。</p> <p>③来年度以降、埋立量の実績を、簡易或は精密を年度毎計画的に実施することとした。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [環境水道課]

第2四半期

目標3	自然環境の保全	担当係	環境係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○自然エネルギーの活用</p> <p>①住宅用太陽光発電設備の他、拡充した木質バイオマス燃料ストーブ、太陽熱温水器の設置補助事業を周知、推進する</p> <p>②小水力発電等の普及について、事例の調査や、有益性について検討を行う。</p> <p>③中央小、中央公民館の太陽光発電設備工事を完了させ、これを含む5か所の設備の管理運営を行う。</p> <p>④木質バイオマスの利活用について、賦存量等調査と研究会を設置し検討を行う。</p> <p>⑤ウチダザリガニの駆除等について、長野県と連携した啓発活動と、対策組織の設立を目指す。</p> <p>⑥「松川町役場地球温暖化防止実行計画」の評価と、次期計画の策定を行う。</p>	<p>①各補助金交付要綱を拡充し、まちづくり懇談会、広報紙等で事業を広報した。住宅用太陽光発電設備18件、太陽熱温水器設置3件の実績。</p> <p>②長野県主催市町村個別相談会に参加し、事業の進め方について相談を行った。</p> <p>③役場、中学校、名子中央保育園設備に加え、繰越とした中央小学校設備が6月末発電開始。中央公民館設備は施行中。4設備の運営管理を実施中。</p> <p>④補助事業の計画書を提出し内示を得るが、事業内容等について指摘を受け、計画の見直し中。その中で、ボイラー業者、地元木材関係業者への聴き取りなど実施。</p> <p>⑤片桐ダムについて研修会、捕獲体験会を開催し(7月)駆除に対する意見聴取を行った。堤干しに合わせた捕獲を、地元区と協議。</p> <p>⑥未着手</p>	<p>①太陽熱温水器については、業者の斡旋が有効。</p> <p>②町民への働きかけは未着手。</p> <p>③計画的に進捗している。</p> <p>④事業進捗が遅れている。</p> <p>⑤ダムでの駆除に様々な意見があり、今後の取組みについて、次会議への提案等の検討に苦慮している。</p> <p>⑥事業の作業計画がされていない。</p>	<p>①工務店等へ、事業の宣伝を行う。特に町外のストーブ販売店へ、当町の補助金拡充を伝える。</p> <p>②県、長土連等関係機関の普及活動の活用に取り組む。</p> <p>③継続して運営管理を行う。</p> <p>④研究課題の再確認と、調査業務発注仕様書をまずは作成。</p> <p>⑤検討再開の契機となった地元有志との協議を行う。</p> <p>⑥趣旨の再確認、実績集計に着手する。計画説明会に参加し、要領を習得する。</p>
目標4	安全で安定した水道水の供給	担当係	
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○安全安心の水道水の供給</p> <p>①浄水場他施設・設備の監視と現場巡廻を計画的に行う。</p> <p>②荒天や施設異常等緊急時は、職員が24時間体制で対応する。</p> <p>③水道技術管理者を1名養成するため、研修に派遣する。</p> <p>○宮ヶ瀬橋架替事業に伴う、送水管布設事業</p> <p>④橋梁添架ほか工事の調査設計業務委託と、建設事務所等関係機関との協議をすすめる。</p> <p>○老朽施設の改修</p> <p>⑤遠方監視装置の更新工事(5年計画最終年)の実施。</p> <p>⑥上片桐地区老朽管布設替工事(3箇所)施工する。</p>	<p>①日々の監視と定期的な現場巡廻を実施中。</p> <p>②実施中。</p> <p>③学科講習に派遣した。</p> <p>④調査等業務を発注(6月)。建設事務所と現地(右岸側)立会い実施(9月)。随時、建設事務所に計画等の進捗状況を確認している。</p> <p>⑤工事発注(6月)。</p> <p>⑥当初計画の3箇所が、現場調査により4箇所となる。そのうち、3箇所を発注。</p>	<p>①②異常時の早期対応を行い、重大事故は無い。</p> <p>③不足する人員体制で、①②の業務を滞りなく実施することとなる。。</p> <p>④年内に建設事務所と現場(左岸側)立会い予定。</p> <p>⑤工期内の完了を監督する。</p> <p>⑥計画どおり発注しており、工期内の完了を監督する。</p>	<p>①②継続し、水道水の事故防止に努める。</p> <p>③必要に応じ、課内の応援を行うことを課内確認。</p> <p>④補助事業と補償工事との区別を明らかにする。随時、建設事務所に計画等の進捗状況を確認する。</p> <p>⑤施工時は浄水場の遠方監視が出来なくなるため、業者との綿密な施工スケジュールの調整を行う。</p> <p>⑥年内に全箇所を発注し、工事金額をまとめ調整する。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [環境水道課]

第2四半期

目標5	下水道施設の適正な維持管理	担当係	上下水道係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○下水道処理場、管路等の維持管理</p> <p>①処理施設やポンプ設備の維持管理業務を業者に委託し、常時及び緊急対応を行う。</p> <p>②カメラ調査による管路の破損や閉塞箇所等の調査と、処理設備等の点検を実施し、状況に応じた修繕や清掃を実施する。</p> <p>③松川浄化センターの固定脱水機の設置及び電気計装設備等更新の実施設計を行う。</p> <p>④同管理汚泥棟の耐震補強工事の実施設計を行う。</p> <p>⑤福与クリーンセンターの機能診断及び改修工事の実施設計を行う。</p> <p>○危機管理体制の整備</p> <p>⑥下水道事業継続計画(下水道BCP)に基づく訓練を、維持管理受託業者と共同で実施する。</p>	<p>①維持管理業務実施中。</p> <p>②農集排上片桐下地区の簡易カメラ調査を発注。(6月)完了した。(8月)</p> <p>③日本下水道事業団へ実施設計を発注。(6月)実機稼動状況視察(7月)。第1回目の協議を行った。(9月)</p> <p>④同上。</p> <p>⑤長野県土地改良事業団体連合会へ実施設計を発注(6月)。2回の協議を行った。(8月)</p> <p>⑥計画に基づき、訓練を行い、現状に適した更新事項を協議した。(9月)</p>	<p>①事故無く、適正に実施している。</p> <p>②上片桐下地区全域の調査を計画的に進める。</p> <p>③工程が若干遅れ気味である。</p> <p>④同上</p> <p>⑤工程どおり進んでいる。</p> <p>⑥机上訓練から、実践的な訓練を取り入れる必要があると、維持管理業者とも認識。</p>	<p>①継続して実施。</p> <p>②継続して実施。</p> <p>③事業団へ工程どおりの進捗を督促。</p> <p>④同上</p> <p>⑤継続して実施。</p> <p>⑥維持管理業者と訓練計画を検討する。</p>
目標6	上下水道事業の安定経営	担当係	上下水道係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○事業の健全経営</p> <p>①正確な料金徴収事務を行うため、毎月の上水道検針、料金請求、収納事務を確実に行う。</p> <p>②滞納者に対して訪問や措置等を行い、徴収率の向上を図る。</p> <p>○長期的な経営安定のための取り組み</p> <p>③上水道事業アセットマネジメント委託事業を、計画に沿って進め完了する。(3年計画の最終年)</p> <p>④上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業ごとに「経営戦略」を委託により策定する。</p> <p>⑤下水道事業の公営企業会計移行業務を発注し、基本調査と固定資産調査に着手する。(3年計画)</p>	<p>①業務実施中。</p> <p>②訪問による集金を随時実施。給水停止措置を月例で実施中。</p> <p>③計画に基づく中間協議を2回実施。(6月・9月)</p> <p>④3事業の経営戦略策定業務を発注。(5月)中間協議を随時実施した。(水道9月・下水道8月)</p> <p>⑤業務を発注し、基本調査に着手。(4月)中間協議を行った。(8月)</p>	<p>①適正に実施している。</p> <p>②給水停止措置は、効果的である。</p> <p>③工程通り進んでいる。</p> <p>④同上</p> <p>⑤工程や成果を確認しながら業務を進める必要がある。</p>	<p>①継続して実施。</p> <p>②措置の他、面談交渉を行い、督促の他、返済計画の相談を進める。</p> <p>③成果等の公表、説明のため、解り易い資料作成を業者と協議する。</p> <p>④同</p> <p>⑤本年度成果予定の確認を行う。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [建設課]

第2四半期

目標1	国庫補助事業と町単独事業による道路整備	担当係	土木係・建設管理係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○国庫補助事業による道路整備</p> <p>①都市再生整備計画事業により、町道神護原線・町道町谷線・町道116号線の改良工事を実施し、安心安全な生活道路整備を推進する。</p> <p>②道路事業により、町道大草線の道路整備を実施し、歩車分離による安全な道を確保する。また、同事業を使って、町道東原線の舗装補修を行い、快適な交通を確保する。</p> <p>③道路事業により、中央道を跨ぐ上片桐第2橋の修繕を実施し、橋梁長寿命化事業を推進する。</p> <p>○町単独事業による生活道路の整備</p> <p>④新規並びに継続申請のあった公共土木事業の採択箇所を早期に発注し、地元要望に沿った生活道路を整備する。</p> <p>○整備促進のための用地事務</p> <p>⑤神護原線、大草線、町谷線、116号線の整備を促進するため、道路工事等に伴う用地補償交渉を適正に行い事業推進を図る。</p> <p>⑥道路改良工事による買収、寄付等により取得した土地の登記を迅速に進める。</p>	<p>①神護原線はH27繰越事業として継続工事実施中。町谷線もH27繰越事業として工事实施し、5月26日に竣工した。またH28事業の116号線は6月に発注して現在工事実施中。</p> <p>②大草線はH27繰越事業の橋梁上部工が9月に完成した。現在はその前後の改良工事を実施中。また東原線舗装補修については9月に発注した。</p> <p>③中央道跨道橋の上片桐第2橋修繕については、中日本高速道路㈱へ6月に委託協定を実施した。</p> <p>④H28に採択した箇所の発注率は9月末で75.8%であり若干の遅れがみられる。</p> <p>⑤神護原線、大草線、町谷線、116号線の用地、物件補償の交渉を工事实施に併せ実施している。</p> <p>⑥買収、寄付等により取得した土地の登記を随時実施している。</p>	<p>①各工事において交通規制を行っているが、予告通行止め看板を設置するなどしたためトラブル等は起こっていない。</p> <p>②橋梁前後の改良工事を発注し計画どおり進行している。</p> <p>③中日本高速道路㈱側の都合による主張が強く、計画どおりに進捗していない。</p> <p>④同時期の発注率は、一昨年79.4%昨年85.9%であった。係員構成が変更したため若干の遅れが認められる。</p> <p>⑤神護原線の神社代替用地確保や借地の交渉、農振除外、農転許可等に時間を要した。町谷線では建物補償の交渉に足を運び契約まで実施できた。</p> <p>⑥権利の移転には時間を要する。</p>	<p>①国庫補助関連により、すぐに対応できるよう柔軟な体制が必要である。</p> <p>②神護原線との通行止めにより地域住民に迷惑をかけるため、計画的な発注が必要である。</p> <p>③中日本高速道路㈱へ工事費関係をよく協議したい。</p> <p>④稲作や果樹栽培が終了した箇所での土木工事を重点的に発注する。</p> <p>⑤町谷線の地権者と用地補償の契約を結ぶ。</p>
目標2	安心安全な交通を確保する道路整備計画及び調査	担当係	土木係・建設管理係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○歩行者が安全に利用できる道路の改良計画</p> <p>①町道59号線の物件調査を実施して地権者との用地交渉を行い、交差点改良に向け事業推進を図る。</p> <p>②町道大草線の道路改良工事について、先線の改良計画を実施する。</p> <p>③中央道の跨道橋5橋を含む橋梁長寿命化点検を実施し、道路施設の延命に努める。</p> <p>○快適な交通を確保する道路整備計画と調査</p> <p>④前河原道路、町道御鋤原線等について、県道及び広域農道へ繋がるネットワーク道路として面的な整備計画の検討を行う。</p>	<p>①年度当初、丸茂タクシーへ用地交渉を実施したが、その後の交渉に時間が空いてしまっている。</p> <p>②大草線の先線計画を係内にて打合せ検討した。</p> <p>③中日本高速道路㈱と打ち合わせ協議を何度も行い、7月に協定を締結した。</p> <p>④地方事務所農地整備課へ昨年からの継続として計画の相談を実施した。また理事者と今後の道路計画を検討した。</p>	<p>①交渉相手と連絡を取合い、事業実施に向け課題をクリアするよう交渉を実施したい。</p> <p>②唐沢川までの地権者と改良計画の協議が必要である。</p> <p>③中日本高速道路㈱の会社側の理由により、当初の計画通り進行していない。</p> <p>④事業費が多額であり、国庫補助事業を取り入れなければ事業実施ができない。補助を得られるような計画づくりも必要となってくる。</p>	<p>①用地交渉を今以上に実施したい。</p> <p>②地権者と現地立会を実施し、用地提供の意向を調査する。</p> <p>③実施計画を話し合い事業の早期実施を依頼する。</p> <p>④農地整備課と現地を調査し有利な補助事業の聞き取りを行う。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [建設課]

第2四半期

目標3	町道・河川等の維持管理	担当係	建設管理係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○町道の維持管理</p> <p>①安全な道路環境維持のため、今年度から配置した道路維持作業員を有効に活用し、舗装補修や側溝の清掃、幹線道路の除草、支障木除去等を迅速に実施する。</p> <p>②除雪については、区自治会へ協力を要請すると共に、委託業者との連携を深め、降雪の状況に応じた除雪対応体制を推進する。</p> <p>○河川等の維持管理</p> <p>③河川や水路の愛護のため、区自治会及び河川愛護団体、関係機関と連携して町内一斉河川清掃、河川パトロールを実施し、河川の維持管理及び倒木等の除去を行う。</p> <p>④片桐松川河川敷のボランティアによる雑木伐採作業を、今年度も広く協力を求めて実施する。</p> <p>○許認可事務の適正処理</p> <p>⑤道水路の管理者として、申請のあった占用・自営工事、道路使用、特殊車輛通行、境界確認等について、現地を調査立会いのうえ適正に事務処理する。また、道路台帳の管理を行う。</p>	<p>①道路パトロール、道路路肩や歩道の除草、舗装の穴埋め修繕、道路側溝の閉塞処理を定期的に行い、道路環境の整備を随時実施している。幹線道路危険箇所の除草を、7月上旬発注し、盆前に終えた。</p> <p>②今年度の除雪協力を、10月の区長会、12月の区長自治会長会にてお願いすると共に、11月には業者と除雪会議にて昨年の反省を踏まえた体制を確認する。</p> <p>③6/12区・自治会による町内一斉河川清掃を実施、5/16天竜川合同巡視、5/26春の河川パトロール、7/3天竜川河川一斉清掃を実施し、河川愛護、美化を図った。9/29建設事務所と現地調査を実施、堆積土除去の要望を行った。</p> <p>④6/23区長会にて、今年度も2月頃に実施していくことを確認し、協力を呼びかけた。</p> <p>⑤町道及び町管理の水路について、各申請の受理、現地調査等を随時実施し、許可書等の交付をしている。</p>	<p>①始業時に担当者と作業員が当日の作業箇所を打合せ現場に出発。大きな事故も無く作業を実施している。夏場作業はフレックスタイムによる調整を図っている。</p> <p>②早めに除雪の準備をする。</p> <p>③一級河川の堆積土除去や、樹木伐採の地元要望が多く寄せられる。</p> <p>④広く協力を呼びかけ、多くのボランティアによる事故の無い作業をしたい。</p> <p>⑤町道敷きに個人名義の土地が残っていたため、寄付に基づく所有権移転登記の事務処理が発生するケースが時々ある。</p>	<p>①週ごとに実施計画を立て、作業内容の確認を行うこととする。</p> <p>②除雪会議前に担当による内容精査を実施する。</p> <p>③要望箇所のパトロールを実施する。</p> <p>④協働作業として協力体制を確立したい。</p> <p>⑤町道の個人名義については、発見してから短期間の内に処理する。</p>
目標4	国道・県道・一級河川等の整備促進	担当係	建設管理係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○県道の整備促進</p> <p>①(主)伊那生田飯田線宮ヶ瀬橋架橋の架け替えについて、県や地元、同盟会と連携を図り、用地買収及び工事の促進を図る。</p> <p>②(主)飯島飯田線上片桐バイパスの整備促進及び先線の調査・研究等を早期に実施するよう県への要望活動を活発化する。</p> <p>③(主)松川大鹿線しもくり工区先線の継続工事要望を行い、県と連携して早期の工事促進を図る。</p> <p>○一級河川及び砂防堰堤の整備促進</p> <p>④片桐松川床固工及び天竜川の河川整備の要望を行う。</p>	<p>①架替工事に伴う道路改良計画について、飯田建設事務所と協議し、地元要望の対応として、説明会や個別交渉を実施中。宮ヶ瀬橋架替促進期成同盟会による飯田建設事務所長へ6/30、県建設部長へ7/12提言活動を実施した。</p> <p>②上片桐バイパスの早期整備促進を6/17の県建設部長への提言活動をはじめ、町長からの働きかけを強めています。</p> <p>③今年度工事L=80mを7月に発注し、地元へ工事概要や交通規制、先線の工事計画等説明した。11月完了予定。</p> <p>④床固め、河川整備の要望を継続して行っている。</p>	<p>①馬坂自治会からの要望に対し、どのような対策が取れるか検討中である。8月末、用地の単価を発表し、9月の説明会で地権者の同意を得た。</p> <p>②どのようにルート沿線の住民の意見を聞いていくか、県の考え、町の考えを整理していくかが課題である。</p> <p>③地元の理解は得られ、できるだけ早く進めて欲しい旨の要望あり。</p> <p>④具体的スケジュールは未定である。</p>	<p>①県と地元とのパイプ役となり、問題を一つづつ解決する。</p> <p>②ルートについて、県と町とで慎重に進めていく。</p> <p>③全線早期完成に向け、予算の拡充を要望する。</p> <p>④再度要望する。</p> <p>⑤小横沢砂防堰堤計画の要望を行う。</p> <p>⑥県と地元とのパイプ役となり、事業の早期着工を図る。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [建設課]

第2四半期

<p>⑤大横沢第2砂防堰堤の完成見学会を開催し、堰堤の役割等を広くPRする。また、小横沢砂防堰堤計画の要望を行う。 ⑥中の村沢砂防堰堤の工事を促進するため、県と連携し、地元調整、用地交渉を行う。</p>	<p>⑤6/1完成見学会を地元区、水利組合、一般、関係者等、参加者24名で実施した。 ⑥工事用道路の待避所及び拡幅計画案について飯田建設事務所と現地調査を行い、必要な地権者との計画調整を行った。</p>	<p>る。 ⑤チャンネルユーの放送もあり、広くPRできた。 ⑥拡幅計画案が固まった。今後、自治会全体への説明会を実施し、工事用道路の整備に向ける。</p>	
---	---	---	--

目標5	安定した農業経営のための基盤整備	担当係	土木係
<p>目標</p> <p>○遊休農地対策 ①地域で農地を守るために、多面的機能支払交付金の交付と事業への普及拡大を推進する。 ○農地を守る基盤整備 ②農業施設の長寿命化のため、町単土地改良事業を推進し補助事業を計画的に実施する。 ③用排水路や頭首工等、水利施設の長寿命化計画を策定し安定した農業経営を後押しする。 ④地元が困っている老朽水路について、有効な国庫補助事業を検討し、事業採択の要望をする。</p>	<p>進捗状況</p> <p>①交付金の対象となった各団体へ必要書類の提出をお願いし、漏れや遅れが無いよう責任者へ依頼して必要書類を県へ提出し、進捗状況をチェックしている。 ②年度当初、土地改良事業の採択された申請者へ採択通知を配布した。現在、事業実施要望者と協議し、12か所の交付決定を行った。 ③地方事務所農地整備課へ長寿命化計画の概要作成のノウハウを聞き、全体計画を作成するための調査を実施した。 ④地方事務所農地整備課の担当者へ連絡し、水害があった場合被害が大きいと推定される水路を県と一緒に調査した。また土砂崩落の恐れがある原田地籍の名子井を緊急県単事業により工事する事となった。</p>	<p>点検・評価 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①新たに2団体が加入し、農地を守るために事業を実施している。また他の団体へ事業参加の呼びかけを行いたい。 ②かんがい排水が多い為、稲作が終わり次第要望者へ事業実施の連絡が必要である。 ③他町村と計画作成について情報交換を行う必要がある。 ④詳細な現地調査を実施し、現場にあった補助事業を調査する。また緊急県単事業により水路工事を実施する事となり良かった。</p>	<p>改善 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①遊休農地対策として、各水利組合へ加入推進を図る。 ②申請者へ連絡し、事業実施を促す連絡をする。 ③計画作成を早期に実施し、県へ内容確認を依頼する。 ④国庫補助事業の採択を県へ要望する。</p>

目標6	都市公園の維持管理	担当係	建設管理係
<p>目標</p> <p>○都市公園の施設維持管理 ①台城公園、城山公園、松川公園、富士森公園、むらやま公園の施設維持管理を適切に行う。 ②安全な都市公園とするため、遊具点検及び修繕、砂場の清掃を随時実施する。 ③都市公園の地元愛護会に補助を行い、共に利用しやすい公園とするために維持管理を促進する。 ④都市公園の芝生管理や、柵の補修、進入路拡幅等、施設整備を行い利用促進を図る。 ⑤年次計画による富士森公園のトイレバリアフリー化、</p>	<p>進捗状況</p> <p>①道路維持作業員による公園点検のほか、草刈り、トイレ清掃委託業務による定期的な公園整備と管理を実施している。 ②遊具点検及び砂場清掃を8月中旬に実施した。 ③地元愛護会と連携し、環境美化に努めている。 ④むらやま公園の芝管理をヤハギ緑化や清流苑に委託。進入路拡幅は地権者へ説明を終え、11月に発注する予定。台城公園の柵修繕は今後進める。 ⑤国庫補助事業の見直しから、次年度に事業実施を送る。</p>	<p>点検・評価 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①古町を愛する会との連携を図っていく。高木となっている樹木の管理を進める必要がある。 ②早期に発注する事ができた。 ③地元愛護会や愛する会、観光、史跡担当者を含めた意見交換の場を設けて、今後の整備計画等を検討することが求められている。 ④台城公園進入路拡幅は、地権者の了解は得ている。</p>	<p>改善 (第2・第4四半期に記入)</p> <p>①台城について今後の管理方法の会議を行う。 ②定期的にパトロールを実施し、遊具や砂場を管理する。 ③各地元愛護会と意見交換の会議を開催する。 ④進入路拡幅は柿の収穫が終わる11月に発注し、本年度で全線完成する。 ⑤次年度に向けて、遊具整備、バリ</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [建設課]

第2四半期

遊具整備を地元と連携して進める。 ○都市公園の利用案内及び使用受付 ⑥安心して安全に利用できる公園であるために定期的なゴミ拾い、遊具の点検、利用の案内・調整を実施する。	⑥公園使用の案内及び使用許可について、随時、許可の発行している。	⑤次年度に向けて地元と遊具やトイレについて話し合っていく。 ⑥環境美化、安全対策を図る。	アフリー化の内容について地元との調整準備を行う。 ⑥毎週2回(月曜日と金曜日)にパトロールを実施する。	
目標7	住宅耐震改修の推進、住宅確保の支援、町営住宅の維持管理		担当係	建設管理係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
○住宅建築物及び危険ブロック塀の耐震改修等の促進 ①住宅の地震被害を軽減するため、耐震診断や耐震補強改修の重要性をPRし補助事業を実施する。 ②地震による危険ブロック塀の倒壊等、災害から町民の生命を守るため、危険ブロック塀の撤去及び改修について補助事業を実施する。 ○建築確認申請の受付 ③建築確認申請に伴う道路証明を現地確認のうえ適切に行い、庁内関係課へ合議調整を迅速に行う。 ○町営住宅の維持管理と空き家(老朽空き家)対策の推進 ④町営住宅の維持管理を適切に行う。 ⑤町内にある空き家の実態と意向について調査し、空き家(廃屋等)の対応方針について庁内調整会議による協議検討を行う。	①耐震診断7件、補強改修5件の申請を受け付け事業を実施中である。 ②危険ブロック塀の補助申請は、現在0件である。 ③建築確認申請に伴う道路幅員等の現地確認と、庁内合議を随時実施し、調整を図っている。 ④5件の町営住宅の維持管理及び利用者との連絡調整を行っている。6月に老朽住宅(1件)からの別の耐震改修した町営住宅へ移転を行った。 ⑤4月の区長自治会長会にて、各自治会内の空き家調査を依頼し、5月末に87件の該当建物を把握した。ゼンリン空き家情報、水道使用情報を加えた600戸の現地調査を実施中。	①無料である住宅耐震診断について、再度PRを行い計画の10件に近づける。 ②危険ブロック塀補助についても、広くPRをしていく。 ③窓口での丁寧な対応と説明を行い、適正な事務処理に努める。 ④利用者との連絡調整を密にしている。 ⑤自治会からの情報と、水道使用情報、ゼンリン空き家情報を活用して、業者による現地調査とアンケートによる意向調査を実施する。調査員の立入り作業が誤解されないよう徹底する。	①耐震診断のPRを実施する。 ②危険ブロック補助のPRを実施する。 ③建築確認については県の建築家が主であるが、町において気づいた点など指摘しミスなく処理する。 ④5戸とも入居者がおり、快適に利用してもらうため、入居者と連絡を取りながら維持管理を実施する。 ⑤空き家調査を委託した業者と綿密に協議し、落ちが無いよう調査を行う。	

平成28年度 組織目標進捗状況 [こども課]

第2四半期

目標1	知徳体の調和がとれた学校教育を推進します		担当係	学校教育係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
<p>①教育部会を組織し、学力向上、特別支援学級、健康、子ども支援の4つの部会により、関係者が連携して児童生徒の支援を行います。</p> <p>②松川町児童生徒就学相談委員会を運営し、支援を必要とする児童・生徒に対し適切な教育支援を行います。</p> <p>③放課後子ども教室を各小学校に設置し、地域の方々の参画を得ながら、学習や様々な体験・交流活動、文化活動の機会を子どもたちに提供します。</p>	<p>①4月18日から9月までに3回会議を開催しており、それぞれの関係者が連携し児童生徒の支援を行っている。</p> <p>②本年度の児童生徒就学相談委員会を組織し、6月13日に第1回目の会議を開催した。現在33件の判定依頼があり、第3回委員会を9月23日に開催し、5件の判定を実施した。</p> <p>③9月現在、登録児童数、北小81人、中央小32名で中央小及び北小にて放課後子ども教室を運営している。</p>	<p>①今年度中にあと2回の会議を計画しており、支援につなげる。</p> <p>②今後5回の会議を予定しているが、1回平均6人の判定を実施する必要がある。速やかな判定につながるよう予めの準備を行う。</p> <p>③中央小や北小と児童の情報交換を行い、教室活動時間中の事故防止につなげていく。</p>	<p>①年間の目標を確認し、会議を進める。</p> <p>②児童の措置解除手続きの認識が事務局と委員会で乖離があった。希少な事例について予め打合せをしておく。</p> <p>③学校で把握している児童の情報を共有できるようコミュニケーションを行う。</p>	
目標2	児童・生徒の学習環境の整備を進めます		担当係	学校教育係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
<p>①松川中学校の給食棟の改築事業を推進します。 ・建設委員会を組織し検討を行い、実施設計を行います。</p> <p>②学力伸長のため、ICT環境の整備について、学校とともに検討を進めます。</p> <p>③学校施設について、点検等を行い、快適な環境整備を整えます。</p>	<p>①平成29年度改築に向けて、建設委員会を設置し、1回目の委員会を開催した。 9月補正で、実施設計に伴う予算計上し、入札準備を行っている。</p> <p>②タブレット端末を導入し、てらこや松中等で使用している。研修等を行い有効利用を進める。</p> <p>③学校施設の点検等を随時実施するとともに、必要な修繕等を実施した。各学校へのエアコン設置の検討を開始した。</p>	<p>①スケジュールに従い、計画を推進する。</p> <p>②研修により、利用が図られている。</p> <p>③学校施設の改善が図られている。</p>	<p>①中学校・給食現場との情報の共有を図り、計画を進める。</p> <p>②一層幅広い利用が図られるよう研修を進める。今後のICTの導入について検討を行う。</p> <p>③引き続き学習環境の整備を進める。</p>	

平成28年度 組織目標進捗状況 [こども課]

第2四半期

目標3	安心して子育てができる環境を整えます	担当係	保育園係・学校教育係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>①「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育園4園で、幼児期における健やかな育ちと、保護者の子育ての支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地条件や規模等を活かし、地域等との交流により、特色ある保育園づくりを推進します。 ・職員の研修を充実し、保育サービスの向上を図ります。 ・休園とした福与保育園の再開について、保護者との協議を進めます。 ・園児の安全を確保するため、日々の安全管理の徹底と、各種訓練(避難・引渡し・防犯等)を実施します。 <p>②保育園保護者アンケートを実施し、これからの保育園運営と幼児教育のあり方を検討します。</p> <p>③幼児・児童の発達について、理解を深めるため、保育園と小学校の相互交流を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士による小学校の授業参観を行い、指導の内容や方法について研修を行います。 <p>④名子児童館・上片桐児童館を運営し、児童の安全な生活と遊びの場を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業期間中は、中央小学校・改善センターを利用して保育を実施します。 	<p>①地域の特色を生かした保育を実施するため、保育課程や指導計画により、保育・支援・相談等を実施している。</p> <p>未満児の入園希望が増加し、加配保育士の配置見直し、パート職員(保育士1名、保育補助員2名)の採用等により対応している。</p> <p>一日保育園長として、議会議員(5月)及びにゃんたぶう(8月25・26日)を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園ごとに地域(高齢者クラブ・高齢者施設・子育て支援センター等)との交流事業を行っている。 ・保育士、調理員ともに各種研修会へ出席し、資質の向上に努めている。また、また、8月に保育園に勤務する全職員を対象とした全体研修を実施。9月より各方面の講師等をお願いし、資質向上を目的とした研修会を開催している。 ・入園対象者のいる家庭へ、入園についてのアンケートを行い、福与保育園再開に向けて保護者の意向確認を行う。 ・交番所長による「防犯訓練」、消防署員による「救命講習」、防災の日の「引渡し訓練」等を行い非常の事態に備えている。 <p>・福与保育園の再開に向けて、ちらしを作成し全自治会回覧し、町内全域から入園児を募集する。また、入園説明会や通知により、生田地区だけでなく広く広報していく。</p> <p>②保育園保護者を対象のアンケートを10月に実施する。</p> <p>③保育士による小学校の授業参観を行い、それを基に意見交換会を行った。</p> <p>④2つの児童館を運営し、児童の安全な生活と遊びの場を確保している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 名子児童館=91名 上片桐児童館=55名 <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中は、中央小学校会議室・改善センター等を利用して保育を実施している。 名子児童館=72名 	<p>①待機児童を出さない、また、園児が増加したことにより保育の質を落とさないために、年度途中ではあるが、職員を採用し対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者クラブや小中高校・福祉施設との交流が盛んに行われている。 ・臨時職員、パート職員も含む全職員を対象に研修会を開催し、保育の質の向上に努めている。 <p>・福与保育園の再開に向けて、該当者のみに限らず、広く町全体・地域へ呼びかけを行っている。</p> <p>②アンケート調査実施に向けて、質問事項等準備を進めている。</p> <p>③保小の連携が図られ、子どもの支援につながっている。</p> <p>④増加する児童や欠員に対応して、職員を補充し対応している。</p>	<p>①待機児童を出さないこと、保育の質の向上、福与保育園の再開に向けた対応を今後も推進していく。</p> <p>②アンケート調査の結果を今後の保育園の運営に活かしていく。</p> <p>③保小中の連携を進め、支援に結び付けていく。</p> <p>④現場の職員と情報を共有し、引き続き安全な生活と遊びの場を提供していく。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [こども課]

第2四半期

	上片桐児童館=27名 職員の退職等に伴う職員募集を行い、欠員の補充を行った。		
目標4	子育てに対する保護者の負担軽減を図ります	担当係	学校教育係
	目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)
	①学校徴収金や入学時の保護者負担軽減を図るため、学校とともに検討を進めます。 ②改正した奨学金制度により、生徒の就学を支援します。 ③ふるさと学費応援補助金制度により、奨学金返済の一部を補助し、人材確保を図ります。	①負担軽減に向けた検討に着手した。 ②改正した奨学金制度により、本年度の貸付を決定した。 本年度の新規貸付決定 高校生=2名 大学生=5名 本年度の貸与 24名 9,240千円 ③ふるさと学費応援補助金について8名の申請があり、決定した。	①学校とも協議し、軽減を図る。 ②進学を希望する子どもの支援につながっている。 ③申請者が予定より少ない状況となった。
			改善 (第2・第4四半期に記入)
			①保護者の負担軽減に向けて、学校と協議を進め、次年度の予算編成を行う。 ②国の制度改正の動向を注視して対応していく。 ③状況を分析し、補助金の趣旨に沿った支援ができるよう、改正も含め検討していく。
目標5	子育てに対する支援・相談事業を推進します	担当係	こども係
	目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)
	①子育て支援センターおひさまを中心に、子育て家庭の支援を行います。 ・企画事業、相談事業、子育てサークルの育成・支援、子育て講演会、遊びの広場、情報発行等の事業を実施します。 ・土曜日に事業を開催することにより、利用者の増加を図ります。 ・子育て応援プログラム(子育てのヒントやスキルを学び合う場)を設け、保護者の子育て能力の向上を図ります。 ②利用者の災害発生時等における安全確保を図るため、避難訓練等の対応訓練を実施します。 ③「療養遊びの教室」を保健福祉課と連携して実施し、支援の必要な児童の早期発見・早期支援を行います。	①子育て支援センター事業を計画どおり実施している。 相談事業16件、サークル活動14件、企画事業5件、情報発行(毎月) ・土曜企画親子ハンドマッサージを開催(6/11) ・子育て応援プログラム(キラリンひろば)開催(6/27) ②年間計画による避難訓練の実施した。(5月・6月・7月) ・7月に防災講座を開催した。(消防署による指導と講話、消火・通報訓練実施、非常食試食) ・防犯訓練は、保育園と合同で実施した。 ③保健福祉課と連携して計画日程どおり実施している。 ・参加者 11組	①計画どおり事業を実施している。 第2回子育て応援プログラム(キラリンひろば)を開催した。母親同士のコミュニケーションが図られ、子育ての悩みを気楽に話しあえる機会になった。 ②計画どおり避難訓練等を実施している。 ③療育あそびの教室 内容の見直しを行ったことで、子どもに分かりやすいメリハリのある流れになった。
			改善 (第2・第4四半期に記入)
			①継続して、子育て支援を実施していく。 ②11月に職員対象の防犯訓練を実施し、利用者の安全確保を図る。 ③今後も、連携をとりながら、支援の必要な児童の早期発見と早期支援を図る。

平成28年度 組織目標進捗状況 [こども課]

第2四半期

目標6	教育委員会の「言える化」「見える化」を推進します(事務局業務)	担当係	学校教育係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>①教育委員会の円滑な運営を行います。 毎月定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催します。</p> <p>②教育懇談会を開催し、広く町民の皆さんと意見交換する場を設け、言える化を推進します。 第1回 8月3日 「スマホやゲーム機等の適正な使用のためのルールづくり」 第2回 11月21日 「地域と学校が連携する学校支援体制の状況について」</p> <p>③広報まつかわに、教育委員会通信「学びじょん・遊びじょん」を掲載し、町民に教育委員会の現状を周知し、見える化を推進します。(毎月)</p> <p>④新教育委員会制度への円滑な移行のため、適正な事務処理・対応を行います。(10月14日)</p>	<p>①定例会(毎月)と臨時会(2回)を開催し、教育課題について検討を行った。</p> <p>②第1回目の教育懇談会を8月3日に開催した。 テーマ「インターネット利用の現状と家庭でのルールづくり」 ルールづくりに向けて用紙を作成し、全家庭へ配布していく。 第2回を11月21日に計画している。</p> <p>③広報まつかわへ「学びじょん・遊びじょん」を毎月掲載し、教育委員会の現状等を町民に周知している。</p> <p>④9月議会で教育長・教育委員が選任された。 10月14日からの新制度移行に向けて準備を行う。</p>	<p>①計画どおり実施している。</p> <p>②中学生やその保護者他62名の参加が得られ、有意義な懇談会となった。</p> <p>③教育委員会の見える化が図られている。</p> <p>④円滑な移行に向けて進めている。</p>	<p>②全児童・生徒の家庭へ統一の用紙を配布し、各家庭のルールづくりを進める。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [生涯学習課]

第2四半期

目標1	社会教育・公民館活動の充実	担当係	生涯学習・男女共同参画係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○若者への取り組み ①持続可能な地域づくりのため、若者に地域活動に関心を持ってもらうことを目的に、本館専門部(社会部、体育部、編集部)とも連携し、公民館を利用、事業へ参加できるよう展開を図る。 ②昨年度開始した、成人式実行委員会を核とした若者事業が発展するよう支援を行う。 ○地域課題への取り組み ③地域コミュニティ向上のため、地区公民館・地区協議会活動について、本館専門部と連携し、支援する。 ④地域課題・生活課題をテーマに第54回公民館研究集会を開催し、今後の公民館活動に結び付ける。 ○成人式の実施 ⑤新成人が主体的に企画運営する成人式を挙げる。 ○文化財保護活動等への取り組み ⑥「地域を知る講座」による町の指定文化財「ツツザキヤマジノギク」の保護活動を行う。 ○各種講座等の開催 ⑦気軽に参加できるまつかわ大学をはじめとした各種講座・教室を開催する。</p>	<p>○若者への取り組み ①②の若者事業へ公民館専門部が参加し、共に活動する人数が増えることによる若者の参加しやすさを考えた。 ②若武者、公民館専門部とともに田植え体験を5月、稲刈り体験を9月に実施した。 ○地域課題への取り組み ③地域力向上講座にて、地区公民館の活動を支援した。(6月21日に古町地区公民館で開催)本館編集部では、地域力向上講座を含む各地区公民館の活動を掲載している。 ④10月中に正副部長会を開催し、テーマについて話し合う予定。 ○成人式の実施 ⑤成人式実行委員会を組織し、8月15日に成人式を開催した。現在アルバムを作成中。 ○文化財保護活動への取り組み ⑥6月5日に社会教育委員、公民館職員でツツザキヤマジノギク保護活動としてオオキンケイギクの駆除を行う。10月に地域を知る講座にて「ツツザキヤマジノギク」を取り上げる予定。 ○各種講座等の開催 ⑦6月11日にまつかわ大学開講式と第1講座、9月3日に第2講座を開催。その他の講座も計画のとおり開催している。</p>	<p>○若者への取り組み ①若者事業を館報で取り上げ広報することができた。 ②5月、9月とも若者は参加してくれたが、参加者を増やしていきたい。 ○地域課題への取り組み ③本館編集部では館報で取り上げることができた。 ④10月13日に三部正副部長会の開催が決定している。2月の研究集会に向けて計画的に進めていく。 ⑤新成人の意見を取り入れた成人式としたい。 ○文化財保護活動への取り組み ⑥ツツザキヤマジノギクを観察する地域を知る講座が10月22日に開催する予定となっている。 ○各種講座等の開催 ⑦英会話教室について、一般クラスと初級クラスに分けて受講者募集を行った。10月6日に一般クラスが、10月13日に初級クラスが開講予定。</p>	<p>○若者への取り組み ①共に活動することができたが、活動の企画にも携わっていききたい。 ②自主運営に向かうよう考え、サポートしていきたい。 ○地域課題への取り組み ③他部での関わりも検討していきたい。</p>
目標2	地域におけるスポーツ活動の推進	担当係	生涯学習・男女共同参画係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○町民ひとりスポーツの推進 ①スポーツ推進委員と共にウォーキング教室を開催し、また参加者が自主的継続的にウォーキングを実施できるよう運動の習慣化を促すと共に、サークル化も進める。 ②スポーツ推進委員や本館体育部と共に、ニュー(軽)</p>	<p>○町民ひとりスポーツの推進 ①「活き生きウォーキング」を5月に開講し第7回目が終了。現在申込者数が50名、11月までに年10回教室を開催予定。 ②ニュー(軽)スポーツ推進については、本館体育部主催、スポーツ推進委員協力により6/10(金)にスポーツ</p>	<p>○町民ひとりスポーツの推進 ①「活き生きウォーキング」は5月開講、第7回目が順調に終了。毎回半数弱が毎回参加。 ②ニュースポーツ推進は、本館体育部・スポーツ推進委員会により6/10(金)</p>	<p>○社会体育・中学校運動部への支援 ⑤上限人数を超える申込みがあり、会場と相談し参加上限を検討していきたい。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [生涯学習課]

第2四半期

<p>スポーツの出前講座を積極的に行い、地域・クラブ等に出向いていく形で、住民誰もが気軽にできる運動の普及を図る。</p> <p>○社会体育・中学校運動部への支援</p> <p>③競技スポーツ奨励のため、体育協会、少年少女スポーツクラブ連盟への支援を行う。</p> <p>④「松川中学校スポーツ活動運営委員会」を通じ、中学校運動部活動と町体育協会・少年少女スポーツクラブ連盟の活動実態を把握して連携を図る。</p> <p>○スポーツイベントの支援</p> <p>⑤町民の健康と交流促進を図るため、駅伝大会、町民ゴルフ大会等のスポーツイベントの支援をする。</p> <p>⑥町制施行60周年事業として「第2回南信州まつかわハーフマラソン大会」を、実行委員会を中心に町、町民、企業、各種団体が共に協力しあい、実施する。</p>	<p>フェスティバルを開催。例年をはるかに上回る71名が参加。出前講座に関しては、現在3回開催。</p> <p>○社会体育・中学校運動部への支援</p> <p>③体育協会、少年少女スポーツクラブ連盟へ補助金、大会等への支援を行っている。</p> <p>④9月29日に松川中学校スポーツ活動運営委員会及び松川中学校部活動連絡会を開催。</p> <p>○スポーツイベントの支援</p> <p>⑤駅伝大会は、本館体育部を中心に11月開催予定。町民ゴルフ大会は参加予定者が228名。</p> <p>⑥各団体へ協力依頼をおこない9月11日に大会を開催。</p>	<p>スポーツフェスティバルを開催し、地域の主力メンバーが参加し普及を図った。今後も出前講座による普及を予定している。</p> <p>○社会体育・中学校運動部への支援</p> <p>③体協、少年少女スポクラへ補助金等支援。全国大会出場選手には、激励金の支援。</p> <p>④中学校部活と社会体育の連携、各部活動で抱えている課題解決が必要。</p> <p>⑤町民ゴルフ大会は、7月31日に開催し、昨年を上回る225名が参加。町内スポーツ愛好者が増加していることがうかがえる。駅伝大会は、現在参加チームを募集中。</p> <p>⑥今大会の反省会を開催予定。反省事項を次年度へ活かしていく。</p>
---	---	---

<p>目標3</p>	<p>男女共同参画社会を目指して</p>	<p>担当係</p>	<p>生涯学習・男女共同参画係</p>
<p>目標</p>	<p>進捗状況</p>	<p>点検・評価 (第2・第4四半期に記入)</p>	<p>改善 (第2・第4四半期に記入)</p>
<p>○男女共同参画の意識の向上</p> <p>①男女共同参画プラン推進会議、推進委員会を開催し、プランの進行管理をするとともに、事業を実施する。</p> <p>②公民館報での講座や女性の活躍の紹介、男女共同参画新聞を発行して、町内全域に向けて男女共同参画に関する動きを伝える。</p> <p>③男女互いに認め合いながら、「暮らしの知識を学ぶ講座」を通して、男性の家事や育児に対する認識を深める。</p> <p>④「男と女いきいき講座」で活動事例をとおして男女共同参画を学ぶ。</p> <p>○自治会等への女性役員の登用の促進</p> <p>⑤地区推進員と協力し、出前講座を実施して女性役員登用を促進する。</p>	<p>○男女共同参画の意識向上</p> <p>①プラン推進会議、推進委員会を開催し、本年度の実施事業の確認を行う。</p> <p>②男女共同参画新聞作成にあたり活動記録の収集を行っている。</p> <p>③「暮らしの知識を学ぶ講座」の第1回目を7月16日に実施。</p> <p>④「男と女いきいき講座 松川町の未来を語る100人男女会」を8月6日に実施。参加人数31名。</p> <p>○自治会等への女性役員の登用の促進</p> <p>⑤地区推進委員を協力して自治会での出前講座を実施。7月28日間沢自治会、8月24日部奈1自治会、9月23日古町北部自治会で実施した。10月21日に羽場自治会、10月28日に生東区で出前講座を実施予定。</p>	<p>○男女共同参画の意識向上</p> <p>①計画どおりに事業を実施している。</p> <p>②公民館報で男と女いきいき講座について取り上げた。</p> <p>③暮らしの知識を学ぶ講座の第1回を無事に終了</p> <p>④男と女いきいき講座では、ワールドカフェにより活発な意見交換ができた。</p> <p>○自治会等への女性役員の登用の促進</p> <p>⑤12月のまとめに向けて出前講座を実施できている。</p>	<p>○男女共同参画の意識向上</p> <p>①プラン作成時に出た意見を踏まえて活動につなげたい。</p> <p>○自治会等への女性役員の登用の促進</p> <p>⑤自治会向け出前講座で意見交換に時間をさけるように時間配分の検討が必要。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [生涯学習課]

第2四半期

目標4	社会教育施設の整備及び維持管理	担当係	生涯学習・男女共同参画係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○中央公民館改築事業の推進 ①国庫補助事業を受け事業の推進を図る。 ・チャンネル・ユ一(株)との連携を随時行う。 ・中央公民館の竣工式及び竣工記念事業(信濃美術館移動展の開催他)を実施する。 ○社会教育施設の維持管理 ②利用者への不便がないように維持管理を行い、緊急修繕にはその都度対応をする。</p>	<p>○中央公民館改築事業の推進 ①毎週工程会議を開催し、工事の進捗確認、工事についての協議を発注者、監理者、工事施工者とともに行う。竣工式及び竣工記念事業について、打合せを行い準備を進める。 ○社会教育施設の維持管理 ②各施設の不具合等についてはその都度対応を行っている。</p>	<p>○中央公民館改築事業の推進 ①建設工事は予定通り実施されている。10月15日に引き渡し、10月29日竣工式を予定。竣工記念事業である信濃美術館移動展の開催を2月に予定。 ○社会体育施設の維持管理 ②トレーニングルームの移動観覧席不具合が発生して、緊急修繕を実施。</p>	<p>特になし</p>
目標5	利用しやすい図書館運営	担当係	図書館・資料館係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>①適切な選書と南信州図書館ネットワーク等活用によって、資料の充実を図り、利用者に提供する。(目標:年間貸出冊数100,000冊) ②誰もが気軽に心地よく使える図書館を目指し、館内環境の整備に努める。 ③子どもたちの知的好奇心を育むため、読み聞かせをはじめとした読書支援活動を行う。 ④幅広い世代の多様な生涯学習を支える場として、各種イベント・講座を開催する。 ⑤より多くの人に本や読書に親しんでもらえるよう、「家族読書の日」の推進、図書館や資料の広報活動、各種施設・団体との連携事業に取り組む。</p>	<p>①貸出冊数は減少傾向であり、昨年度の4-9月と比較して-1,763冊減少している状況。8月は昨年度-1,115冊と落ち込みが激しく、9月は+906冊と盛り返している。 ②郷土資料の棚を増設した。また、女子トイレ・身障者用トイレの改修を行った。 ③小学生こども教室は、定員以上の申し込みがあり、順調に開催できている。またブックスタートのプログラムの見直しを行った。 ④松川高校3年の保育選択クラスから依頼があり、こどもとよみかせについての出張授業を行った。 ⑤8月より、地域のボランティアと協力して、中央小の朝読書の時間によみかせを行っている。</p>	<p>①8月は冊数・人数とも減少しているが、平日の貸出冊数減と、40-59才の利用減が、少し目立った。 ②郷土雑誌が見やすく配架された。 ③ブックスタートについては、進行がスムーズになった。 ④図書館の職員が持っているスキルを、地域に還元することができた。 ⑤館外でのよみかせや、ボランティアとの協力は、職員のスキルアップという面でも効果がある。</p>	<p>①11月以降は新公民館と併せて図書館に来てもらえるよう、環境やイベントなどの工夫が必要である。 ②松川町関連の資料はよりわかりやすく配架する必要がある。また全体的に書架の増設を検討したい。 ③ブックスタートの絵本について、見直しをかけていきたい。 ④地域での多様なニーズに応えられるよう、外部講師の活用はもちろん、本やよみかせに関しては職員のスキルも磨いていく必要がある。 ⑤ボランティアの拡大と支援のため、よみかせの基本講座や、練習できる場をつくる必要がある。</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [生涯学習課]

第2四半期

目標6	親しみある資料館運営	担当係	図書館・資料館係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○郷土への関心の向上</p> <p>① 資料館主催の企画展を企画し、町の歴史・文化に関心を高める。</p> <p>② 子どもたちが町の歴史に興味を持よう、体験学習を実施する。</p> <p>③ 資料館展示ホールを住民活動の発表の場として活用する。</p> <p>④ 町内における文化財周辺の管理を徹底し、見やすい環境をつくる。</p> <p>⑤ 新児童・生徒用郷土資料集「わたしたちの松川町」の編纂を開始する。</p> <p>○収蔵庫の整理</p> <p>⑥ 収蔵品の整理を段階的に実施する。</p>	<p>○郷土への関心の向上</p> <p>① 企画展は10月末に開催予定で構想中(町制60周年に合わせて)。</p> <p>② 図書館・資料館まつりで実施。</p> <p>③ 働きかけ等未実施、申し込みも今のところない。</p> <p>④ 必要に応じ草刈等実施中、説明板等の設置について現地下見等実施。</p> <p>⑤ 資料集「わたしたちの松川町」の構想について松川中央小中核教員と協議をする。社会科分野だけでなく、動植物・文化財・民話など、幅を広げ、活用範囲を広げるよう話し合う。</p> <p>○収蔵庫の整理</p> <p>⑥ 3つの収蔵庫の史料の再配置完了、役場文書(旧村・一部松川町)の仮配置、寄贈・寄託文書(個人・旧近世村共有)の配置、学校文書(松川高・松川中央小・教科書)の配置、民具の整理、写真史料・音声史料の配置。</p>	<p>○郷土への関心の向上</p> <p>① 企画展については当初11～12月に実施予定だったが、10月29日の中央公民館竣工式に合わせ実施することとする。</p> <p>② 10月29,30日に向け、まちの文化財体験学習を実施するよう計画。</p> <p>③、④、⑤については、順次行っていく必要あり。</p> <p>○収蔵庫の整理</p> <p>⑥ ほぼ整理が完了。</p>	<p>改善</p> <p>6月から資料館職員が入れ替わり、古文書に詳しい職員の加入により収蔵庫の整理は、一気に進んだ。また、木地師等新たな住民からの問合せに対しても調査してくれるなど、職員の功績は大きい。</p> <p>一方で、埋蔵文化財保護行政や資料館施設活用に関しては、手が足りない状況であり、改善の必要がある。</p>
目標7	松川青年の家の管理運営	担当係	青年の家係
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>○健全な運営の推進</p> <p>① 利用者が満足する運営と管理に努める。</p> <p>○利用者に寄り添った対応の推進</p> <p>② 利用者の都合や気持ちを考え、利用者に寄り添った対応を心がける。</p> <p>③ 危険個所の修理や安全指導の徹底、事故の予防、事故発生時の素早い対応など危機管理の徹底を図る。</p> <p>④ 利用者が快適に活動できるよう施設内外の環境整備を実施する。</p> <p>○自然体験活動の推進</p> <p>⑤ 松川青年の家に加えて、旧東小学校(生田会場)でも豊かな自然環境を生かした自主事業(松川プログラム)を実施する。</p>	<p>○健全な運営の推進</p> <p>① 主催事業参加者は、前年比21名減少している。宿泊研修の利用者は、研修伯延人員で360名減少している。要因は、ボーイ・ガールスカウト自然体験合宿者の利用減であった。</p> <p>○利用者に寄り添った対応の推進</p> <p>② 施設内への入所・退所では、利用者の行動に合わせて早出や時間外で対処している。また、利用者から入浴の時間外の相談には対応している。</p> <p>③ ジーンズを迎える野外キャンプのテント用スノコで老朽化しているものを補修を行い。快適に野外活動を楽しんでもらうための対応を行った。</p> <p>④ 施設全体の環境整備(草刈り)を行い。虫の発生元の対策を行っている。また、雑林の枝払いを実施し林</p>	<p>○健全な運営の推進</p> <p>① 主だった施設が少なく利用者にとって多趣による娯楽が少なく申し分ないと思う。利用団体の人数の減少については、団体内の参加人数が変動するので致し方ないと思う。</p> <p>○利用者に寄り添った対応の推進</p> <p>② 利用者の行動に合わせて早出や時間外で対処し、利用者から感謝の言葉をいただいた、今後もできる限り行っていく。ている施設及び周囲の環境整備を今後も進めていく。</p> <p>③ 利用者がケガをしないよう危険個</p>	<p>○健全な運営の推進</p> <p>① 職員が野外活動体験等の指導ができるように研修会に積極的に参加し、技量を身につけ、利用者の要望に対応できるように各自スキルアップに努める。</p> <p>○利用者に寄り添った対応の推進</p> <p>② 施設利用者からのアンケートを実施しているが、記載いただいた要望は、素早く対応する。</p> <p>③ 安全対策を職員全員で今後も進めていく。気が付いたことは意見を出し合い改修していく。</p> <p>④ 青年の家施設外では、冬期を迎え</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [生涯学習課]

第2四半期

<p>○町の事業への積極的な協力 ⑥当町の子どもたちの自主性や社会性を養い、保護者の子育て力の伸長を図るため通学合宿を実施する。また、蓮田市との小学生交流会では、自然体験活動を通してお互いの交流が深まるよう展開を図る。 ○閉所に向けて ⑦県や町と連絡を取り閉所の準備を進め、3月には閉所式を実施する。</p>	<p>○町の見通しをよくする整備を行った。 ⑤自主事業「松川プログラム」を青年の家と旧東小学校(生田会場)で実施するとともに内容の充実を図っている。昆虫採取や観察川遊びと草木染を8回行った。「南信州自然探訪」を5回行い4月から合計10回開催した。 ○町の事業への積極的な協力 ⑥小学校3年生から5年生までの児童が参加して後期通学合宿を10月に開催する。職員の共通認識を図るため念入りに会議を重ねて計画の準備を進めている。蓮田市との当町小学校交流会事業において、7/27～28の2日間で実施する。森林ゲーム、登山等の計画を生涯学習課と連携し実施。当日は、児童のけが等なく無事に交流会を終了できた。 ⑦町と連絡を取り閉所の準備を進めている。</p>	<p>所の点検を随時行い修繕を行う。また安全指導の行った結果、現在まで大きなケガもなく済んでいる。 ④これから虫(カメムシ)の活動が、館内に侵入する時期を向え、虫退治を進める。環境整備を進めた結果施設を清潔に保つことができた。 ⑤青年の家や生田会場を使った松川プログラムは、豊かな自然を利用した講座やものづくりの楽しさを満足頂いている。 ○町の事業への積極的な協力 ⑥蓮田市との交流事業では、お互いの交流が深まり成功した。およりの森森林セラピー・清流苑・フォレストアドベンチャー、との連携を密にとっている。今後も関係機関と具体的に検討を図る。 ○閉所に向けて ⑦利用者への「閉所のご案内」による周知を計画中。</p>	<p>凍結対策と落葉の清掃を行い施設の環境整備をする。コバエ・カメムシ対策については職員一同で対応していく。 ⑤「南信州自然探訪」の冬期開催については山のぼりができない。そこで、動植物の観察会などを考えている。(野鳥、自然) ○町の事業への積極的な協力 ⑥後期通学合宿を開催して、青年の家として最後を迎える。継続の事を考えた時、今まで行ってきたノウハウの引継をしっかりと行う。 閉所に向けて ⑦平成29年3月に閉所式を実施できるよう準備を円滑に進める。</p>
--	--	--	--

<p>目標8 こどもたちの豊かな社会力の育成</p>	<p>担当係</p>	<p>生涯学習・男女共同参画係</p>
----------------------------	------------	---------------------

<p>目標</p>	<p>進捗状況</p>	<p>点検・評価 (第2・第4四半期に記入)</p>	<p>改善 (第2・第4四半期に記入)</p>
<p>○確かな学力の伸長 ①小中学生の学びの要望に応えた「てらこや」事業を実施する。 ○豊かな社会力の育成 ②地域への理解を深め、新たな自分を発見できるキャリア教育の充実 ・中学生の職場体験の事業所の開拓と受け入れリストの作成を行う。 ・地域の魅力を発見・創造する起業体験「チャレンジショップ」の推進を行う。 ④中学生の力を地域に還元する奉仕活動の取り組み ・「ボランティアカード」を活用し、奉仕活動への参加を促進する。 ・地域行事への参加、ハーフマラソンなど各種イベント</p>	<p>○確かな学力の伸長 ①地域未来塾「てらこや松中」事業を実施中。毎週水曜日の「水曜てらこや」では現在までに294名、夏休み期間の「夏のてらこや」では206名が受講している。 ○豊かな社会力の育成 ②7/12～7/14の3日間、中学2年生を対象に「松中スマートライやる」を実施。町内外の全62事業所に受け入れを依頼し、生徒101名が参加。キャリア教育の充実を図った。また、「チャレンジショップ」では中学2年生19名が参加中。9/11のハーフマラソン及び11/27の「ぷらっと」での開店を目指し、地域の仕入れ先と打ち合わせ中。 ③社会福祉協議会と連携し、「中学生ボランティア体験事業」を実施中。町内で31件の受け入れ先を開拓</p>	<p>○確かな学力の伸長 ①好評。順調に進んでいる。ICT機器の導入により、参加意欲が増してきている。 ○豊かな社会力の育成 ②「松中スマートライやる」では、全62事業所に受け入れをいただき、3日間の中で充実した職場体験ができた。 チャレンジショップでは、町内外の方々が中学生の思いを大切に考えて下さり、9/11のハーフマラソンでの開店では全4商品を完売することができた。</p>	<p>○確かな学力の伸長 ①タブレット端末他ICT機器の積極的な活用と活用実績の検討。 ○豊かな社会力の育成 ②来年度に向けて、地域や学校のニーズに基づいたスマートライやる」受け入れ先の開拓。また、キャリア教育(チャレンジショップ)の継続実施。 ③町内の行事なども含めたボランティアの受け皿拡大や、ボランティア事業の周知。 ○「地域から学校へ」「学校から地域へ」の流れづくり ④「学校から地域へ」の活動や学び</p>

平成28年度 組織目標進捗状況 [生涯学習課]

第2四半期

<p>の運営を補助する。 ○「地域から学校へ」「学校から地域へ」の流れづくり ⑤学校の「助けて」に応える地域力の構築を行う。</p>	<p>これまでに107名が福祉施設や教育施設などでのボランティアを実施・決定している。また、ハーフマラソンでは68名のボランティア参加希望が出ている。 ○「地域から学校へ」「学校から地域」の流れづくり ④「中央小けやき応援団」「上片桐子ども応援隊」の学校ボランティアが発足。合計144名の登録がある。</p>	<p>③特に夏休みは多くの生徒がボランティアに参加した。5回の活動で授与される「ブロンズ」では8人の生徒が、10回の活動で授与される「シルバー」では1人の生徒が表彰された。 ○「地域から学校へ」「学校から地域へ」の流れづくり ④月に1回のクラブ活動では、地域講師の方々の指導が定着してきた。その他、福祉学習や習字指導などの学習支援ボランティアも継続して行われている。</p>	<p>の場の受け皿の拡大。授業の見守りボランティアや、丸つけボランティアなど、更に学社連携の可能性を広げる。</p>
--	--	---	--

平成28年度 組織目標進捗状況 [議会事務局]

第2四半期

目標1	開かれた議会運営の推進		担当係	
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
<p>○議会基本条例の推進 ①議会報告会(議会と語る会)の内容の充実等、開催支援。 ②策提言へ向けての委員会の開催及び議員協議会の開催支援。 ③広報、広聴常任委員化を目指し、広聴の部分(政策提言)の強化を図る。 ④傍聴者を増やす方策、また、議会の情報公開を推進する。 ⑤住民の関心度が更に高まるような、内容が伝わりやすく質の高い議会だよりの発行支援。</p>	<p>①5か所で開催(3テーマで行う)開催後の意見集約を実施中。 ②毎月議員協議会を開催し、議員相互の連絡調整や協議案件の資料作成等開催支援を実施。 ③9月の定例会で委員会条例改正(広報・広聴委員会)を提出予定。 ④政務活動費等の議会の情報公開を推進。 ⑤モニターの方からの意見などを参考に、より質の高い議会だよりの発行を実施。</p>	<p>①全地区5カ所で開催し、内容の精査を行い、町への提言や議会として考えて行くものなどに意見集約し、政策提言とした。 ②議員協議会など議員相互の連絡調整や協議を毎月随時実施している。 ③広聴の部分(政策提言)の強化を図る目的から9月議会にて委員会条例の改正を行い広報、広聴を常任委員化した。 ④政務活動費を始め、議会情報をホームページや議会だよりの発行により推進。 ⑤質の高い議会だよりの発行により、県内外からの視察研修や問い合わせが寄せられている。</p>	<p>①各地域への説明には基本全議員出席の要望あり。</p>	
目標2	関係町村議会との連携		担当係	
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)	
<p>①リニア中央新幹線などの高速交通網の整備を始め、関係町村共通の課題の検討などが必要とされる中部伊那議会協議会や北部ブロック町村議会の構成議会として、関係町村と連携し事業の遂行にあたる。</p>	<p>○中部伊那議会協議会研修会の開催にあたり、日程調整をはじめ中部伊那議会構成町村正副議長・事務局長会議を重ね開催に向けた準備を実施中。 ○北部ブロック町村議会研修会を開催し、議題提出について町の委員会等で協議し提出。構成町村の正副議長で県に提言活動を行う予定。</p>	<p>○中部伊那議会協議会研修会及び北部ブロック町村議会研修会の開催により、関係町村と連携、調整する中で、それぞれ県への提言等を取りまとめ提言活動を実施した。</p>		

平成28年度 組織目標進捗状況 [議会事務局]

第2四半期

目標3	財務や事業に関する監査の実施(監査委員事務局)	担当係	
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>①監査委員の指示により、会計書類の点検、財務や行政運営に関する各監査資料の収集などを適切に実施する。</p> <p>②監査指摘及び指導事項について各課へ正確に伝えるとともに、改善を要する事項については具体的な改善の実施を促す。</p>	<p>①監査計画に基づき、例月監査・定期監査・決算審査を実施。監査補てん資料の収集とりまとめや作成を行い、監査委員へ資料を提示。</p> <p>②監査計画に基づき、定期監査の実施。全体講評、各課の講評を文書化し、職員に提示。</p>	<p>①例月出納検査・定期監査・決算審査など、会計書類の点検、財務や行政運営に関する各監査資料の収集などを適切に実施。</p> <p>②各課の講評を文書化し、職員に提示。</p>	
目標4	明るい選挙の推進と適正な選挙事務(選挙管理委員会事務局)	担当係	
目標	進捗状況	点検・評価 (第2・第4四半期に記入)	改善 (第2・第4四半期に記入)
<p>①法令に基づき、公正・公平・中立な選挙事務を確保し、適正且つ円滑な選挙の管理執行を図る。</p> <p>②本年7月に行われる見込みの衆議院議員選挙と11月の町議会議員選挙について、適正な事務執行及び、期日前投票のPRを行い、投票率向上に取り組む。</p> <p>③明るい選挙推進協議会と連携を図り、投票への参加ときれいな選挙の実現について広報活動を行う。</p> <p>④選挙制度改革に伴う、初めての18歳以上の投票について、各機関の連携や広報活動等によるスムーズな執行。</p>	<p>①法令に基づき選挙事務を推進。</p> <p>②参議院議員選挙を実施。 期日前投票のPRを随時チャンネルユー等で実施し、投票率が前回参議院選挙よりアップした。</p> <p>③チャンネルユーや広報等を活用し、広報活動を実施。</p> <p>④投票参加の呼びかけとして、地元高校の玄関前にてチラシの配布を実施。</p>	<p>①参議院議員選挙を法令に基づき実施した。町議会議員選挙に向け適正に選挙事務実施していく。</p> <p>②参議院議員選挙においては期日前投票のPRを随時チャンネルユー等で実施し、投票率が前回の参議院選挙よりアップした。町議会議員選挙においてもPR等により投票率向上に取り組む。</p> <p>③チャンネルユーや広報等を活用し、広報活動を実施。</p> <p>④参議院議員選挙では投票参加の呼びかけとして、地元高校の玄関前にてチラシの配布を実施。</p>	